

学習院同窓会「桜友会」の会員誌

桜友会報

創立85周年
記念号

[No.89]
2006.12.1

85周年記念特別フォーラム

藤原正彦

日本のこれから — 国家の品格

皇太子殿下をお迎えして
記念式典・祝賀会開催



第1回草上セミナー

中山恭子内閣総理大臣補佐官
国際社会の中の女性の生き方

卒業生インタビュー

相馬雪香
女子学習院の頃

桜友会新年会は1月9日(火)

桜友会ホームページ

<http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/>

第25代 学習院長に波多野敬雄氏が就任

田島義博前学習院長のご逝去に伴い、平成18年5月26日の学習院評議員会において波多野敬雄氏が第25代学習院長に選任されました。任期は平成18年6月1日から故田島院長の残任期間の平成20年9月30日まで。波多野氏は平成15年から、学習院女子大学長として活躍し、今回新院長就任にあたっては引きつづき学習院の広報・PRの重要性と、ゆとりを有益に活用できる一貫教育の重要性を強調しています。



波多野敬雄 (はたの よしお)

生年月日 昭和7年1月3日
 昭和25年 学習院高等科卒業
 昭和28年 東京大学法学部中途退学、外務省入省
 昭和31年 プリンストン大学卒業
 昭和42年 吉田茂(元総理)秘書官
 昭和50年 大臣官房人事課長
 昭和52年 大臣官房総務課長
 昭和56年 在アメリカ合衆国
 日本国大使館公使・特命全権公使
 昭和57年 中近東アフリカ局長
 昭和59年 大臣官房外務報道官兼昭和天皇御進講役
 昭和62年 在ジュネーブ国際機関日本政府代表部
 特命全権大使
 平成2年 在国際連合日本政府代表部 特命全権大使
 平成6年 退官、財団法人フォーリン・プレスセンター理事長
 平成15年 学習院女子大学学長
 平成18年 学校法人学習院長・理事長

【学習院女子大学】

波多野敬雄前学習院女子大学長の学習院長就任に伴い、永井和子氏が学習院女子大学長に就任。(関連記事44ページ)

【学習院初等科】

齊藤進前学習院初等科長の停年退職に伴い、学習院大学文学部英米文学科教授の中島平三氏が学習院初等科長に就任。

生命の輝き

祝！親王殿下ご誕生

秋篠宮文仁親王殿下、親王妃紀子殿下に平成18年9月6日、第1男子として親王悠仁様が誕生された。眞子様、佳子様に続いて3人目のお子様で、皇室では41年ぶりの男子の誕生となった。お印は「高野槇」。



高野槇の大木。強くて、緻密で耐久性があり、樹形も美しい。しっかりした葉にも生命力が漲っているように見える

「高野槇」古くから変わることのない、美しい樹形の品格ある木。

コウヤマキ

その名の通り和歌山県の高野山に多い日本特産の種で、本州の福島県・新潟県・長野県以西に自生する常緑針葉高木。大きいものでは高さ40m、直径1m以上になるものもあるという。分類としてはマツ科とスギ科の中間に位置するものと考えられ、一般にはコウヤマキ科コウヤマキ属コウヤマキ種とされているが、スギ科コウヤマキ属とされることもある。樹形は生育するにつれて自然に美しい円錐形に整い、世界三大美樹のひとつにも数えられている。その上、恐竜がまだ地球上を闊歩していた中生

代末の化石も見つかっているほどで、生きた化石植物とも言われる。日本人との関わりは、昔から強靱さ、緻密さ、耐久性があることで知られ、建築、土木、船舶などの材料として利用され、最近では湿気にも強いことから風呂桶や風呂椅子などとしても注目されている。目立つことはあまりないが、日本人の生活と深く関わってきた木なのである。岐阜県中津川市や和歌山県高野町では市町の木にもなっている。今回、あらためて見直してみたい木である。

「お印」について／皇族の方々、身の回りの品々につける印章のこと。天皇陛下は榮（えい）、皇后陛下は白樺、皇太子殿下は梓、皇太子妃殿下はハマナス、愛子内親王殿下はゴヨウツツジ、秋篠宮殿下は桐、秋篠宮妃殿下は檜扇菖蒲、眞子内親王殿下は木香茨、佳子内親王殿下はゆうな、黒田清子様（紀宮清子内親王殿下）は未草。



桜友会会員の皆様へ、特別にご案内申し上げます。

小学校高学年からの論理力トレーニングプログラム。

Plot Junior

プロットジュニア

自分の頭で考える力、自分の言葉で伝える力

論理は世界の“共通語”です。しかし論理を伴ったコミュニケーションは、多くの日本人の不得手とするところでもあります。このプログラムは、将来広く国際的に活躍されるお子様に、さまざまな場面で求められる論理的な思考力を、楽しく効果的に習得していただくことを目的に開発されました。すでにお試しになった方々からは、「しっかりと、説得力のある話ができるようになった」「まわりに流されず、自分で考えて判断するようになった」など、お子様の成長を喜ばれる声を数多く頂戴しております。皆様にもぜひこの機会に、Plot Juniorへのご入会をお薦めいたします。

- おもな対象は、小学校高学年から中学生です。通信教育ですから、世界中どこでも受講可能です。
- 毎月32問の精選された演習問題+添削課題で、筋道立てて考える力を、自然に身につけていきます。
- 各月のテキストのテーマ
 疑ってみる／「このことから何がいえるか」を考える／すじ道だてて考える／よい質問をする／わかりやすく伝える／関係を見つける／正しい判断をする／視点を変えてみる／問題を解決する／「なぜそうなるのか」を考える 他

* プロット・ジュニアのPlotは、Program for Logical Thinking の略です。

一年コース、新規会員募集中。会費月額5,000円(税込)。

くわしくはホームページ(<http://www.asba.jp>)をご覧ください。下記まで資料をご請求ください。



株式会社 **アスバ教育システムズ**

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤3-9-206 TEL 048-824-3541

CONTENTS



明治10年(1877)の学習院開業式の際下賜された勅額。目白の百周年記念会館3階にレプリカが展示されている。桜友会の設立は44年後の大正10年(1921)。

桜友会創立85周年記念特集

皇太子殿下をお迎えして
記念式典・祝賀会開催……………6

85周年記念特別フォーラム

日本のこれから
—国家の品格 藤原正彦……………10

■巻頭フォト・コラム

高野槿……………1

■卒業生インタビュー

「女子学習院の頃」 相馬雪香(「難民を助ける会」名誉会長) ……4

■第1回 草上セミナー

国際社会の中の女性の生き方 中山恭子(内閣総理大臣補佐官) ……34

「月例会」で会いましょう! ……33

第66回「学習院」公開講演……………37

平成18年度 周年同窓会……………38

名越茂夫先生の傘寿を祝う会……………40

桜友会ライブラリー……………46

写真集『明治の記憶』学習院大学所蔵写真……………48

学部会

法学部同窓会…41 経済学部同窓会…41 理学部同窓会…42

文学部会……………43 草上会……………44 常磐会……………43

桜友会通信

全国支部・輔仁会OB・OG会・職域桜友会の活動等……………18

平成19年度桜友会役員候補者推薦のお願い……………17

平成17年度決算書・平成18年度予算書・委員会組織表……………29

TALKING CAFÉ

相馬さんと学習院の関係、そして思い出などを教えてください。

女子学習院に入ったのは大正13年（1924）で、卒業は昭和6年（1931）、私の知っている女子学習院は5年間です。初めは聖心女子学院に通っていたのですが、先生とケンカばかりしてましたから関東大震災後そのまま学校に行かなくなったのです。そうしたら翌年に父から電報が来て明日試験があるから出て来いってというので、当時いた軽井沢から東京に出て行って試験を受けました。その時の女子学習院は、前期4年、中期4年、後期3年があって、私は中期の3年からで、一緒に外から4人が入りました。

そんなこんなで女子学習院に入りましたところ、クラスで華族の方と同じお当番になりました。そのお当番同士でケンカをしちゃった。それが酒井さんっていう方ですが、酒井雅楽守の子孫だったんですね。でも、お当番があるからそういうケンカもしてられなくて、結局、仲良しになって、酒井さんとは随分お付き合いしました。お屋敷にも呼ばれて行きましたけど、ビックリしちゃって。我々の家と違ってとにかく大きいでしょ。そういうのが当時の女子学習院だったんですよ。ほかに外から一緒に入った方は、外交官や学校の先生のお嬢さんでした。酒井さんなんか結構乱暴でしたけれど、なにしろ一番やんちゃだったのは私。負

卒業生インタビュー

「女子学習院の頃」

おおらかさとの出会い——

平成18年9月22日、憲政記念館にて



「難民を助ける会」名誉会長
相馬雪香（昭6女子学習院）

けず嫌いではありませんでしたが、成績を良くするなんてこと考えたこともなくて。でもそれを先生方は認めてくださったよ。本当に女子学習院はおおらかでしたよ。いろんなことを許していただいた。まあ、尾崎さんだからしょうがないわ、って目

をつぶってください。

国語の佐藤先生という方がいらして、その先生に私が「なんで女子学習院なんか教えにいらしたの。つまらないでしょ」って聞いたたら、先生は、明治維新の元勳の子供たちがどういいう教育を受けているかが見たくて来たなんておっしゃってました。その先生も平民の方ですが、大正13年（1924）っていったらわりに、先生も特別に華族だからという接し方はなさらなかったですね。

明治の日本海軍の父で総理大臣も務めた山本権兵衛さんのお孫さんともとても仲良くなってるね、山本さんの家に何うとおじい様が「ああ尾崎の娘か、よう来た、これ食え」なんてお菓子を出してくださってね、そんな調子でした。北白川宮様の御殿にも参りました。北白川宮様は軽井沢に毎夏おいでになりました、私の家のお隣りでした。殿下のお妹さんが同級だったので、馬を私の家の厩でお預かりいたしました。そのお妹さんも結構おてんばでね、よく話を通じて。特に宮様だから、特別ということもなくて、普通のお友達としてお付き合いしておりました。組は違っておりましたが、遊びの時間はご一緒だし、宮様だからといって手を控えるなんてことは、いたしませんでした。先生も、認めていらっしやいました。本当にありがたい時代でしたね。

女子学習院での教育が私の根本になっています。本当に正しいことは正しい、

相馬雪香 (そうま・ゆきか)

明治45年(1912)1月26日、東京・品川に生まれる。現在94歳。「憲政の神様」と言われる尾崎行雄氏(号堂)の三女。日本初の英語同時通訳者。昭和6年(1931)女子学習院卒業。昭和12年(1937)相馬恵胤氏と結婚。昭和14年(1939)よりMRA(道徳再武装運動)に携わる。昭和52年(1977)に「日韓女性親善協会」を設立。さらに、昭和54年(1979)には、「インドシナ難民を助ける会」を設立(後に「難民を助ける会」)。長年の功績に対して、平成3年(1993)にエイボン女性大賞、平成11年(1999)に読売国際協力賞(難民を助ける会)を受賞。難民を助ける会名誉会長、尾崎行雄記念財団副会長、日韓女性親善協会会長、国際MRA日本協会名誉会長ほか要職を務める。主な著書に「心に懸ける橋」(世論時報社)、「あなたは子どもに何を伝え残しますか」(祥伝社)など。

間違っていることは間違っていると、はっきりしてらっしゃったんです、先生方は。

女子学習院を卒業後は上の学校に行きたかったんです。父が知り合いの方に東京大学に入れるか聞いてくださったのですが、残念ながら女子は入れられません。その時父が「勉強は学校だけじゃありません。一生かかってするものです」と言った言葉が強く印象に残っています。

昭和6年(1931)8月に父はアメリカのカネネギー財団に呼ばれてアメリカに講演に行くことになって、勉強になるからと私と一緒に連れて行ってくれました。それからイギリスに行きました。向こうに1年半、行っておりまして。その前にワシントンに行つて、父はフーバー大統領にお会いしたのですが、帰つてきて父はしきりに残念だ残念だと言つてました。何が残念かと聞いたら日本が日支事変を起こしてますね。父は、日本政府は事態を抑えられないからさらに大きく拡がるといくら言つてもフーバー大統領はじめそこにいた人達は、日本は明治以来ウソをついたことはない、日本政府はこれ以上行かないって言ってるから、それを信じると。今の日本政府はそうはいかないといくら言つてもダメだった。明治以来、築いてきた日本の信用をこれで失う。残念と。その印象がとつても強かった。学校は個人の道徳は厳しく教えてくださったから、個人が正しいことをす

る大切さはわかっていたけれど、国にもおんなじに正しいことをしなければならぬという、個人と国との関係、別扱いではなくて通じてるということを感じました。当時右翼なんか、尾崎を黙らせろといつても黙らないんです。人がなると言つても自分が正しいと思うことはやらなきゃいけないということを教わったのはその時。

政治家・尾崎行雄の何を現代の人に伝えたいですか。

世界の中の日本という考えが一番大きいんじゃないでしょうか。今の政治家の方々は日本はもうこれでいいと思つてらっしゃるのでしょうか。どうでしょうか。今は地理的にもイメージ的にも世界は昔よりはるかに小さくなつていて、地球上のどんな地域とも関係があるんじゃないでしょうか。日本あつての世界じゃなくて、世界の中の日本という考えでなくてはいけません。父の影響もあるし、母の影響もあるし、外国に接して受けたいろんな影響もありますけどね。でももともとなる考え方というのは、日本は世界の中の一員で、世界を抜きにして日本はないってことですよ。父の言葉を今引つ張り出したら、ちょうど、今の時代に合うんです。昔とおんなじことをまた日本はやるうとしてるのでは。その頃の文章をそのまま持つてきてても役に立つようなものが随分ありますよ。

学習院を含めて、これからの子供た

ちへの教育に何を望みますか。

私ね、日本がまた昔と同じような「天下に冠たる大日本帝国」になりかけてるよと感じるんです。世界が小さくなるから、みんなと仲良くしていくしかないですよ。それをどうやって皆さんにわかつていただけるのかと思つて。今の学校教育がどういふものかよくわからないのですが、私たちの頃は先生が皆、私たちのしゃばりなんかを許してくださったけど、今はみんな心が狭くなつて来んじゃないでしょうか。学生の身分なのにそんなことしちゃいかんとか。おおかさがないでしょ。世界の人たちとコミュニケーションをとつていかななくてはならない。そのコミュニケーションに大切なのは、相手をおおらかに受け入れることじゃないでしょうか。

インタビュー後記

相馬雪香氏は現在、軽井沢に住んでいる。そこから今でも週2回、新幹線で東京・永田町の憲政記念館まで出勤し、精力的に活動を行っている。とても御歳94歳とは思えないバイタリティで、尾崎行雄氏の精神を継ぎ、様々な活動や言葉で、それを次世代に伝え続けている。お話を伺っていても静かな語り口の中に、強い平和や日本への思いが感じられた。戦前からすでに目は海外を向き、現代は世界が狭くなったと言い切る。そんな相馬氏にとって軽井沢と東京の距離などたいしたことはないのかもしれない。

85周年記念
第53回定期演奏会



巻頭特集 桜友会創立85周年記念



学習院OB管弦楽団員でもある皇太子殿下は、記念の定期演奏会でピアノを演奏。85周年記念式典・祝賀会にも参加された。



皇太子殿下をお迎えして祝った桜友会の85年 桜友会創立85周年 記念式典・祝賀会開催

平成18年7月9日(日)／学習院創立百周年記念会館にて

大正10年(1921)に「学習院同窓会」が改組、改名して
「桜友会」となってから平成18年(2006)で85年。

ご自身も桜友会員である皇太子殿下をお迎えして、
桜友会創立85周年記念の演奏会、記念式典・祝賀会を盛大に開催した。

ベートーヴェン交響曲第九番「合唱付」ほか

学習院OB管弦楽団 第53回定期演奏会



演奏会に先立ち故岩城宏之氏の遺影に音楽を捧げた



学習院OB管弦楽団団長の中村昭嗣氏(昭32経)

学習院OB合唱団も壇上にあがり、福田一雄氏の指揮でワーグナーの歌劇「タンホイザー」序曲、ベートーヴェンの交響曲第9番などが演奏された

岩城宏之氏への思いも込めて、
満員の会場にOB管弦楽団の
美しい音が響き渡った。

皇太子殿下をお迎えして祝った桜友会の85年 桜友会創立85周年記念式典・祝賀会



多くの会員の方々が駆けつけた、桜友会創立85周年記念式典で挨拶をする亀井泓桜友会長



桜友会功労者として表彰された島津久厚桜友会名誉会長、賀陽治憲同名誉会長(夫人が代理出席)、黒田長榮顧問と波多野敬雄学習院長



祝賀会には、就任したばかりの波多野敬雄学習院長をはじめ、島津久厚桜友会名誉会長や多くの来賓、桜友会員の方々が出席。直前にあったOB管弦楽団の演奏などの話題で盛り上がりつつ、楽しい歓談のひと時を過ごした

85年の歴史の重みをかみ締めつつ、
更なる発展を誓い合う宴に
多くの桜友会員が集った。



記念式典、祝賀会には皇太子殿下も参加され、亀井桜友会長や出席者の方々に囲まれ、終始にこやかにお話になっていた。殿下はその前の演奏会にもピオラ奏者として参加されていたため、白い団員服と蝶ネクタイで出席。この後は学習院OB管弦楽団の記念パーティへも出席された



皇太子殿下をお迎えし、賑やかに、そして和やかに桜友会の85年を祝った。



平成18年7月9日、目白の百周年記念会館で桜友会創立85周年記念の学習院OB管弦楽団定期演奏会、記念式典・祝賀会が開催された。

演奏会は開場前から記念会館の外に長蛇の列ができ、会場はすぐに満員になってしまった。また、今回指揮を担当する予定だった岩城宏之氏（昭26高）が6月13日に急逝されたため、急遽、同窓の福田一雄氏が指揮を執ることになり、はじめにステージ上に岩城氏の遺影を掲げ、追悼演奏が行われた。この演奏会には、皇太子妃雅子殿下も顔を見せられ、皇太子殿下はじめ団員の奏でる美しい音色に聞き入っていた。

演奏会後、場所を小講堂に移し記念式典と祝賀会が開催された。式典は亀井会長の挨拶に続き、85周年を機に新たに創設された桜友会基金1億円が波多野学習院長に贈呈された。

引き続き、桜友会功労者として島津久厚（昭14旧高）、黒田長榮（昭18旧高）、賀陽治憲（昭22旧高）の3氏が表彰された。

祝賀会では皇太子殿下からお祝いの言葉が述べられたり、元農林水産大臣の島村宜伸氏（昭31政）らの顔も見られたり、途中で出席者全員で記念写真撮ったり、あちらこちらで賑やかな会話の花が咲いていた。最後は内藤頼誼桜友会副会長の中締めで、桜友会創立85周年記念祝賀会は盛会のうちに幕を降ろした。

桜友会創立85周年記念特別フォーラム

「日本のこれから」——「国家の品格」

平成18年10月29日

百周年記念会館にて



藤原正彦（お茶の水女子大学教授）

作家新田次郎氏、藤原てい氏の次男として昭和18年（1943）、満州国で誕生。昭和41年（1966）東京大学理学部数学科卒業。昭和48年（1973）東京大学大学院で博士号取得。都立大学理学部助手、アメリカのミシガン大学研究員、コロラド大学助教授を経て、昭和51年（1976）お茶の水女子大学理学部助教授に迎えられる。昭和62年（1987）イギリスのケンブリッジ大学に客員教授として招かれ、昭和63年（1988）お茶の水女子大学理学部教授に就任。日本とアメリカの数学会、日本ベンクラブ、日本エッセイストクラブ会員。「国家の品格」「祖国とは国語」「若き数学者のアメリカ」など多数。

大ベストセラー『国家の品格』で、日本の進むべき道を骨太に示された藤原正彦氏。同氏を迎えて開催された桜友会創立85周年記念特別フォーラムでも、約1時間半にわたって時にユーモアをまじえながら日本のあるべき姿を歯切れよく語っていただいた。日本における10年間の改革の功罪から教育問題、そして国柄の崩壊まで多岐にわたるお話でしたが、本号では、その結語にいたる約5分の1をクローズアップしてご紹介いたします。



講演を前に開催趣旨の説明をする亀井弘桜友会長

今、国柄がどんどん壊れていく。 伝統の重みをわからなくなってしまった 日本人が支えとすべきものは!?

***今、国柄が壊れていく**

アメリカのハンチントンという人が、世界の8大文明のひとつに日本を挙げましたが、ほかの7つの文明は、キリスト教文明とか中華文明とかイスラム文明とか途方もなく大きなエリアを含む文明です。日本だけが、こんな小さな列島で、ここからほかとまったく違うひとつの文明を生み出してきたということです。私はそれが日本の底力だと、まさに国柄だと思います。これを失ってしまっても何もかもおしまいです。国柄といっても伝統といってもよいわけですが、とにかく最近、何かとこざかしい論理で、伝統とか、国柄というものを平気で壊していく。

これもひとつのアメリカナイゼーションですが、アメリカの場合はどんどん改革してもほとんど壊すべき伝統も歴史もない。そういう国は、どんどん改革して失敗したら頭を掻いてゴメン!といえればいいわけです。そしてまたやり直す。その連続です。だからいつまでも実験国家といわれるわけです。しかしヨーロッパやアジアの歴史ある国々は絶対にそのようなアメリカを真似てはいけません。一旦伝統とか国柄を捨ててしまったらもう2度と戻らない。とにかく日本の国柄の捨て方はものすごい。このあいだは万世一系の皇統にも、手をつけようとしませんでした。女系にするという論理も1000あるでしょう、男系がいいという論理も1000あるでしょう。しかし論理の問題ではまったくないということです。伝統の重みをどうして日本人はわからなくなってしまう

ったのか。本当に情けない。史上最低の国民とはこのことであると私はいわざるをえない。

例えば私がケンブリッジ大学にいた頃、ハイテンプルといって、向こうは階級社会ですから、教授たちの方が高い床で、20cmくらい下のところで学生たちが食事をしているわけです。そこであるパンケットの時、前に座っていた男が、ノーベル賞をもらっている男ですけど、私にいうんです。その時我々は白鳥を食べていたんです。学生たちはチキンでしたけれども。その男が、この白鳥は誰のものか知ってるかというんです。当然取ったやつだろうといったら、とんでもない、これは女王陛下のものだ。彼らはイギリス中の白鳥は全部女王陛下のものだというんです、王室のものだ。そんな馬鹿なこといつから決まってるんだという、突然胸をはって12世紀からだ。イギリス中の野山にいる白鳥が全部王室のものだ。何の論理もない。そうした感覚をノーベル賞者をはじめ、みんなが何百年も保っている。これ自身が何とすばらしいことか、さすがにイギリスだと、私は本当にその時はびっくりしました。伝統というものを非常に重んずる。論理なんてものは超越している。これはもう伝統の定義自身ですね。時代とか論理を超越したもので、そこに論理を当てはめるなんてとんでもないことです。日本人は、そのようなことを忘れて、国柄、伝統をどんどんなくしていつていると、私は思います。

この日本がいかに荒廃しつつあるかと

いうことですが、実はこれ、日本だけではないんです。去年の夏、私の山荘にアメリカの大学の教授が遊びに来ました。昔の私の同僚です。おとしはケンブリッジ大学の時の同僚が学生を6人連れて遊びに来ました。その前の年はドイツ人の教授とイギリスの上院議員が遊びに来ました。このような人々と話していると、みんな同じようなことをいいます。向こうの社会でも金銭崇拜が昔よりはるかに強くなってきた。そして子供たちは、理数離れや読書離れがどんどん進んでいる。これまではヨーロッパで生まれた論理とか公理とか理性に照らし合わせて誠心誠意考えていけば必ず解決策があったが、今回だけはどうもうまくいかない。一体どう考えたらいいんだろうかと、そんな同じような質問をするんです。

私はそれに対して日本人はすでに答えをもっていると思うわけです。それは日本人の持つ美しい情緒と形、そういうものです。

***日本人は独創的民族**

例えば日本人の自然に対する繊細な美的情緒。これは非常にすばらしい。日本に長く滞在している人々がみんな絶賛している。このようなものがあつたから、日本は世界一の文学王国を作った。とにかく西暦の500年から1500年までの1000年間、10世紀間に、日本が生んだ文学作品は全ヨーロッパの生んだ文学作品を質及び量で圧倒している。日本のあらゆる学芸で最もすばらしいものが、文学だと思えます。それから次いで、

しっかりと見直さなければいけない、日本人の持つ美しい「情緒」と「形」。それが日本を立て直すキーワードだ。

といっても数十歩遅れてはすけれど、数学があるんです。江戸時代には関孝和という大天才がいた。例えば理系を出た方は、必ず大学1年生の時に行列式というのを習うんですね。世界中の理系の大学1年生はみんな行列式を習う。この行列式は、みんなドイツの生んだ大天才ライプニッツが発見したと思ってる。しかし、そうは問屋がよろさない。その10年前の元禄年間にも関孝和が発見してほとんど使ってるわけです。そういうものを鎖国の中で発見した。非常に独創的な人です。その弟子の建部賢弘って人もすごい人でした。日本人は非常に独創的な民族です。よく日本人に独創性や創造性がないとか、猿真似国家だとか、学者とか評論家が言いますが、とんでもないことです。紫式部とか松尾芭蕉は1000年に一人の天才です。例えば1543年、種子島に、鉄砲、火縄銃が来た。その時種子島の人はずぐに1本買い、それをすぐに解体する。そして鉄砲の本質は何かと究明する。そして40年後には信長が1万何千丁もの鉄砲を大量生産して使っている。しかもその鉄砲が世界で最高性能だった。すごい独創性です。日本はまず真似をします。仏教も中国のあとすぐ真似して、すぐ儀式等に取り入れる。しかしそれから300年くらい経った平安末期になると、もう法然とか親鸞とか道元とか日蓮とか超ど級の天才が出てきて日本のな仏教に変えてしまう。あるいは漢字が中国にあるとすぐに真似する。しかし聞

髪を入れずに万葉仮名、ひらがな、カタカナを發明し、さらに豊かな言語を作っていく。これは非常に独創性のある民族だということです。

*日本人の持つ美的感受性

特に文学と数学が著しくすごい。これは、この両方において美的感受性が決定的役割をすること、そしてこの美的感受性というのが日本人のお家芸だということ。とにかく日本人というのは、花を何となく花瓶の中に放り込むのを華道にしてみよう。相手からせればいいだけの文字を書道にしてみよう。あるいはお茶なんてイギリスに行けばマグに入れてがぶ飲みするだけですが、それをちゃんと茶道にしてみよう。何でも美的にやってみようわけです。実は日本の生んだ和算という数学も芸術性の方に行き過ぎて、自然科学と結びつかず、欧米のニュートンたちの自然科学と結びついた数学に負けてしまったんですね、江戸時代に。しかしとにかくこの美的感覚というのはものすごいことです。秋の夜更けに虫の声が聞こえると、日本人はみんなそれを美しい音楽のように聴く。こんな才能を持っている国は日本と、南洋のどこかの島だけらしい。非常にすばらしいものを持っている。それだけではなく、日本人は虫の声を秋になつて聞くと、そこに秋の憂愁を感じる。すばらしい生を謳歌するような夏が過ぎて、秋になり死のような冬に至る。このつかの間に秋の寂しさや憂愁を感じる。そこに人生の儚さとか人

生の寂寥、そういうものまで投影することが出来る。明治の頃、日本にいたラフカディオ・ハーンという人は、そのような感受性を持っているのはヨーロッパではたぐいまれな詩人のみであるといっています。そのヨーロッパではたぐいまれな詩人のみが持っている感受性を、日本ではまったく普通の庶民が普通に持っている。それで彼は驚いた。彼はこうも書いています。日本には美しい声で鳴く虫が非常に多い。そういえば確かに私も欧米に何年か暮らしてましたけれど美しい声で鳴く虫というのは聞いたことがないんです。

あるいは、日本では秋になると、みんな紅葉狩りに行きます。私も5、6年前にベラルーシのミンスクというところの科学アカデミーに呼ばれて講演に行きました。数学の講演をしてその翌日に、呼んでくれた教授に、ちょっと紅葉を見に行きたいと言いました。9月の中旬ですね。向こうは寒いから紅葉してると思っています。ところが山に入ったら1時間走っても2時間走っても右も左も真っ黄色で、そもそも木の種類が少ないんです。昭和初期に東京で8年間暮らしたサンソム夫人という人が、イギリスの外交官夫人ですけれど、日本には木や花の種類がやたらに多いといっています。例えば木の種類でいえば、南洋の木から北欧の木まである。日本は非常に木が多いから秋はどこに行っても色とりどりです。イギリスでもアメリカでもそうでしたけれども、向こうは真っ黄色なんです。ベラルーシでもそうでした。ところが呼んでくれた

「日本のこれから—国家の品格」

藤原正彦（お茶の水女子大学教授）



百周年記念会館の正堂が満席になった記念特別フォーラム

教授は、最初から紅葉なんかに興味がないんですね。彼にとつては紅葉は単に死にかかった葉っぱに過ぎないわけです。結局は2日行つて2日とも、キノコ取りの手伝いをさせられました。奥さん

の手料理でおいしいキノコをたらふく食べましたが、キノコのほかはウオッカばかりで、とにかく向こうは1分に1回くらい乾杯するんで参りましたけれども。

翌年、ケンブリッジ大学の教授が来ましたが、やはりフィールズ賞を取つた教授ですが、その話をしました。そしたら彼が「あのキノコを食べたか？」というんです。「もちろん旨かつたよ、腹いっぱい食べたよ」とこたえると、もしかしたらベラルーシのミンスクは、チエルノプリの北300kmのところにあるのを知らないのかというんです。しかも当日南の風がびゅうびゅう吹いてたつていうんです。本当にいやなヤツだと思ひました。しかも、キノコというのは最もよく放射能を蓄積するというんです。私はずう仕方がない、翌日から昆布ばつかり食べてました。昆布を食べると、放射能と結合して排出されるらしいんです。こんなこともありましたけれども。彼がひとつ気付いたことがあった。

日本のカエデは非常に繊細だと、色の変化が鮮烈なんだと。向こうの葉っぱは、

もつと大きくて厚ぼつたというんです。だから緑の葉っぱが何となく黄ばんできて、そして茶褐色になると落ちてしまふと。まさに死にかかった葉っぱなんです。去年、猪苗代湖のそばの神社に紅葉狩りのついでに行つてみましたら、そこに大きなカエデの木がありました。そこには緑色と真つ黄色と、橙と、真つ赤な色とが全部ひとつの木にあるわけですね。陽の当たり加減によつて、その位置によつても色が違う。

*自然に膝まずく心

日本は、山も川も木々も谷も、空も風も雲も何もかも非常に繊細な美しさをたたえてできた国です。だからこそ明治維新に海外から人々が来てみんな絶賛した。ポルトガルの作家のモラエスという人は、長崎港に来てなんと美しい町だと思つた。世界の3大美港、リスボンやベニスも比較にならない。そして徳島で死ぬまで日本に一生住んでしまいました。あるいは日光に行つたアメリカ人は杉並木を通りながらこの世のものとは思われないというような感想をいだく。ある人は日本のことをガーデンステートだと、要するに公園国家だと、みんながすばらしいと絶賛した。このような美しい自然があつたわけです。それが今、これもほとんど壊されている。この美しい自然も国柄の中の国柄であつたということです。ここから、ものの哀れ、儂いものの中に美を見出すという世界に冠たる情緒が生まれてきたわけです。日本の中世文学は、もう、ものの哀れだらけ。

先日オックスフォード大学のイギリス人の先生が来ましたが、その人は新古今和歌集をやつてるんですが、新古今和歌集の研究で何が一番難しいかと聞いたら、ただちにものの哀れだと。私は「えつ、イギリス人にももの哀れはないんですか」と聞いたら「もちろんありますよ。あるけど日本人ほど鋭くない。ものの哀れに対応する英語がない。それに近い英語すらない」というんです。ドナルド・キーンというアメリカの文学者によると、こういう儂いがゆえに美しいと感じるのは日本人だけだそうです。

桜だつてそうです。美しいのは1年であつた5日くらいですね。他の期間は桜なんてほとんどくの坊みたいな木です。太くて黒々として、ゴツゴツして毛虫がたかつたりして、まあ、桜餅の葉っぱになるくらい。しかし日本人は日本中に桜を植える。5日間すばらしく美しく咲いて、パッと散る。それが我々の人生のようだと。ついこの間まで青春時代だと思つていた。それがあつという間に中年になつて、老年になつて死んでしまふ。そういうものを投影するわけですね。ただオービューティフル、オーワンダフルだけの世界じゃない。そこに人生がある。日本中に植えて国の花にまでしてしまふ。もしも桜が200日満開だったら誰も植えないんじゃないかと思う。5日だからなおさら美しい、そういうものの哀れですね。そういう美しい情緒がある。あるいは、そうした自然に膝まずく心です。ヨーロッパの人にとっては自然は人類の幸福のために征服すべき対象



祖国日本だけでなく、 今人類を救えるのは 日本人だけではないかと思う。

である。お粗末ですね。

しかし科学技術がどんどん発達した今、人類の幸福のために征服すべき対象なんていつたら自然環境はあつという間になくなってしまふ。自然というのは、人間よりはるかに偉大なる存在です。だから日本中の神社仏閣は全て木々で覆われている。例えば伊勢神宮にはほとんど涙流さずにはいられないようなすばらしい木々がある。そこに神々が宿っている。ただただそこで膝まずいてきた。人間中心主義ではない、人間の傲慢さとは正反対の、このような日本人の発想、情緒も欧米人に教えていけないといけない。

***懐かしさという情緒**

これだけではありません。日本人の持つていくすばらしい情緒として、例えば懐かしさですね、故郷を懐かしむ心とか

先祖を懐かしむ心とか、これも非常に高尚な心です。日本は懐かしさのオンパレード、万葉集の頃からですね。石川啄木、斎藤茂吉、萩原朔太郎、室生犀星に至るまで、もう懐かしさ、郷愁のオンパレードです。そういう国なんです。そしてそれとほとんど同じもので、家族愛、郷土愛、祖国愛、こう

いうものがきちんと日本にはあった。最近ではこういうものがどんどん薄くなっている。子供たちにはこの順で、まず家族愛を徹底的に、それから郷土愛、それから祖国愛と教えなければいけない。よく小学校、中学校でいきなりこの3つを飛ばして、いきなり最も崇高な人類愛から教えている。しかしこれはたんなる砂上の楼閣にすぎない。何で家族愛、郷土愛、祖国愛を教えないのか。これは祖国愛が問題になっちゃうんですね。祖国愛を教えると戦争を起すなんて思う人がいる。よくぞこのような大嘘をついてくれる。家族を涙ながらに愛し、故郷を涙ながらに愛し、祖国を涙ながらに愛する、このような人は、他国の人々の同じ思いをよく理解できるわけです。他国に侵略していつて、これから相手を殺そうというその時に、殺そうとする相手にも涙ながらに愛している家族がいて、故郷があつて、国がある、そう思つたらそう簡単には殺せないわけです。すなわち家族愛とか郷土愛とか祖国愛をしつかり持つことは戦争の抑止力になるということなんです。こういうものがない人が戦争を起すという事です。この3つを身に付けているということは国際人になるために非常に重要なことです。そもそもこういうものが無いと、例えばガーナで生まれ育つてもその村や町や国を愛せない。こういう人と私は絶対付き合わないですね。韓国の村や町や国で育つて、そして韓国を愛せない。そういう人がいたら全く付き合わない。付き合つても何も得るものがない。人間として信用すらできない。

い。魅力もないということです。

***武士道精神の本質**

それから美しい形というのは、多くが武士道精神から来るものです。武士道精神というのは元々は鎌倉時代の戦いの掟だったんです。しかし江戸時代に260年間平和が続いた。その間に、謡曲とか歌舞伎とか講談とかいろいろなものを通して、その戦いの掟が一般の日本人の道徳基準になつていった。その中核は何かというところ、慈愛とか誠実とか勇氣とか正義とか忍耐とか、あるいは惻隠、弱者、敗者への同情、共感、涙です。あるいは卑怯を憎む心とか、あるいは名誉と恥とか、こういうものです。こういうものは国際人になるために最も重要なものです。明治維新の頃、下級武士の息子たちが随分海外に行きました。多くの人が尊敬されて帰ってくる。英語もヘタ、レディーファーストもテーブルマナーもよく知らない。しかし尊敬されて帰ってくる。この武士道精神をきちんと身に付けていたからです。何で武士道精神が国際人になるために最も重要なか、英語よりもはるかに重要で、しかもこれが世界ですぐに評価される普遍的な価値か、というところ、実はこれはキリスト教でいつていることと本質はほとんど同じですね。キリスト教から発展した騎士道精神、騎士道精神から発展した紳士道精神、すなわちイギリスの誇るジェントルマンシップと武士道精神はほとんど同じである。したがつてこの武士道精神はきちつと身に付けると、世界にただちに通じるということです。明治時代にキリスト教者である

「日本のこれから—国家の品格」

藤原正彦 (お茶の水女子大学教授)



新渡戸稲造が書いた『武士道』という本に、武士道精神の中核は惻隠だと、惻隠の情であると、弱者、敗者への共感、涙であると、まさにそうあります。

現在、世の中は、市場経済、生き馬の目を抜くような、弱肉強食の社会になっています。このような社会にあって、惻隠の情というのは非常に重要であると思います。今の世の中の支配原理となっている自由平等というのは、アメリカの独立宣言で、神から人間に与えられたものだなんていつてますけれど、そんなものは完全なフィクションです。本当にアメリカに自由があるのか。先々週、アメリカの2つの高校で銃の乱射があった。先週はひとつの高校で銃の乱射があった。今週は小学校で銃の乱射があった。これが自由でしょうか。また、平等でもまったくない。去年ニューオーリンズのハリケーンで死んだ5000何百人はほとんど貧困層と黒人だけです。あるいはアメリカの13・8%の人は医療保険にも入れない。だから乳幼児死亡率は隣の最貧国に近いキューバよりも高い。中国よりも高い。子供が病気になるたらさういう13・8%の人は神に祈るしかほかない。平等、平等と100年唱えようと、1000年経とうと差別はなくならない。これをイソップの寓話に例えようと、自由平等を絶叫するということは、旅人のオーバーを脱がせる北風みたいなものである。一方、惻隠の情というのは太陽みたいなもので、徐々に暖めていって自然にオーバーを脱ぐように働きかける。こういうことがこれからの世界にとって非常

に必要なんですね。そういうものが惻隠の情、あるいは卑怯を憎む心です。

先週あたりは、日本でも中学校の先生までがイジメに加担したという。こういうふうになってしまった。しかしその先生だけが悪いのではない。日本社会の組織のあらゆるところでイジメが横行している。よく学校でみんな仲良くなんていってますが、みんな仲良くなんてできるわけがない。どの組織だっていやなヤツの場合も多いわけですからね。したがってそんなきれいなことじゃすまない。例えば大勢でひとりをやっつけることは卑怯である。この大勢の子供たちが清く正しく美しい子供たちで、この一人が醜く大嘘つきで性格がひん曲がっている。それでも大勢で一人を制裁してはいけないんだということです。大きいものが小さいものをやっつけちゃいけない。男が女に手を出してはいけない。女の中には、生意気な女、ぶん殴りたい女が山ほどいる。それでもぶん殴っちゃいけないわけです。何一つ理由はない。たんに卑怯だから。言語道断なんです。

こういうことをきちんと子供たちに押し付けることが重要です。説明はまったく不要なんです。会津藩の藩校だった日新館にも7つくらい掟があって、その最後に「ならぬことは、ならぬものです」と書いてありますが、もう問答無用、言語道断でしっかり子供に叩き込む。

*日本のゆくえを思う

このような美しい情緒をきちんと取り戻すこと。そして日本人の全てがそ

うものを身に付けてすばらしい国家と、か社会を作る。そうすると海外の人はあれっ、どうして日本だけがすばらしい社会を作れたのかと注目する。そこでは人々は緑の環境の中でそよ風に吹かれている。穏やかな微笑みをたたえている。老後の不安も、医療の不安もない。治安もよい。私の子供の頃は外出する時にカギなんてかける人は誰一人いなかった。そういう国で、子供たちはみんな一生懸命本を読む。野山を走り回る。非行も麻薬もエイズもないすばらしい社会を作る。

そうならば必ず世界の人々は日本に目を向ける。もう論理、公理、理性ではダメなのか、日本の秘密は何かと。しかし彼らはただちに見破る。日本人は論理、公理、理性を非常に尊重していると。論理、公理、理性を否定したら、これは科学技術を否定することで、文明を否定することですから、山に行つて洞穴に住むしかほかない。論理、公理、理性、それらを日本人は非常に尊重していると。しかしそれに加えて日本人が昔から持っている美しい情緒とか形とかさういう伝統的なものをきちんと保っていると。それを付加していると。これによってすばらしい社会を作ったのだと。

そして、世界中がそれを真似する。すなわち日本人の一人ひとりがそのようなものを身に付けて、すばらしい社会、国家を作ることには、祖国日本を救うだけではなく、実は世界を救うことになる。人類を救うことになる。そして今人類を救うことができるのは日本人だけではないだろうかと、そのように思うわけです。

85周年から90周年に向けてステップアップを!

「学習院のお宝」探し

前号で呼びかけをした「お宝」探し企画。
今後も引きつづきフォローしていきます。



本

誌前号の特集で「学習院のお宝を見直そう!」という呼びかけをさせていただきました。特集記事では、校友会設立の歴史の経緯、院内に残されている史跡、そして三島由紀夫氏の学習院での足跡を「お宝」の一例として紹介し、さらに校友会員の皆様が所蔵、あるいは把握している「お宝」がほかにあるのではないかと問いかけをさせていただきました。

本誌発行後に校友会事務局および本誌編集部に寄せられた情報の一部をここでご紹介いたします。

●尾崎春盛氏(昭15旧高) 手紙

校友会報なつかしく拝見いたしました。「三島由紀夫≡平岡公威を探す」には彼の中等科以後の文章について記されていますが、当時、初等科では年1回文集『小ざくら』が発行されていました。彼ほどの文才ある人の作文がのせられていないことはないはず。また『小ざくら』は図書館にあるはず。一度お探しになつてはいかがかと存じます。

また、院外にも、初等科正堂が房総風土記の丘に、乃木院長の官舎が犬山の明治村に保存されています。これらのことも会員でご存知ない方もおられると思います。さらにお榊壇入口にある鉄の門は歴史の「お宝」の一つと思います。

●渡辺純雄氏(平9哲) Eメール

学習院の「お宝」の記事は、在学中に見たなつかしい碑もあれば、はじめて見たものもあり、とても楽しく拝読しました。キャンペーンにここまで石碑のある大

て、学習院の「お宝」ということで情報をお送りいたします。私が所属していた輔仁会茶道部では、安倍能成院長が揮毫した掛軸「和敬清寂」を所蔵しております。確か毎年6月の新入生茶会で床の間に飾っていました。ほかにも何人かの院長、学長が揮毫した書がありました。

また、輔仁会館事務室の機関紙として『独房』というものがありました。これは輔仁会館をよく使用する茶道部、音楽部、能楽研究会などのメンバーが、夜、施設と見回りをするアルバイトをしており、そのメンバーが作成していたものです。まだ輔仁会館にローンが入る前の時代のもので、一人で夕方5時から9時まで、事務室にこもらなければならぬ状況で皮肉ったタイトルでした。私の在学時は、もう作成されておらず、バックナンバーが事務室の書棚に入っていました。

●津軽承秀氏(昭36経) 電話

昔の学習院の学生生活を記録した16ミリの映写フィルムが15本あります。どこかで保管できないでしょうか。

●湧井杜吉氏(昭38政) 電話

安倍能成院長自筆の書きものを多数所蔵しています。一度見にきて下さい。ほかにも様々な情報をお寄せいただきました。ありがとうございます。

また、学校内からも、院史資料室、学習院大学史料館、中・高等科などよりお問合せをいただきました。よりよい「お宝」探しができるよう皆様と力を合わせながら、さらに前進できればと思います。引きつづきご協力をお願い申し上げます。

**皆様がお気づきの、
または所蔵している
「お宝」をお知らせ下さい。**

前号に引きつづきお願ひです。学習院内の歴史史料は、現在、院史資料室、大学史料館、大学図書館、女子大学図書館、女子部図書室などで所蔵・整理が行われていますが、学外にも貴重な学習院関係の史料がまだまだ埋もれているように思われます。

特に卒業生の皆様が個人で所蔵しているものの中に「お宝」があるのではないかと想像しております。移転や建て替えの際に散逸してしまうものもあるのではないのでしょうか。

現時点では、そうしたものを収蔵・保管する場所があるわけではありません。整理方法や整理スタッフの問題、活用方法の問題は今後の課題です。今はとりあえず情報をいただくという段階であることをご理解いただいた上で「お宝」探しをお願い申し上げます。

〈連絡先〉校友会事務局「公報」係

〒171-8588

豊島区目白1-5-1

FA X 03-3988-13853

Eメール

oukai@gakushuin.ac.jp

※内容をお書きの上、郵便、FA X、Eメールでお願ひいたします。

桜友会通信

2006.12.1

会員の皆様相互のコミュニケーションの場です。

STAFF ROOM

『桜友会報』編集室より

創立85周年からの 新たなスタート

『桜友会報』秋・冬号をお届けすることができました。本号は前号に引きつづき桜友会創立85周年記念号と銘うっての発行となりました。本年、平成18年(2006)は、大正10年(1921)に有志の会であった「学習院同窓会」が改組され「桜友会」となつてから85周年に当たります。全卒業生を対象とした「桜友会」は、85年を経た現在会員数10万5000人を超え、よりきめ細かな運営が課題となつてきました。本誌の発行もその一環ですが、多額な費用と手間がかかるのが現実です。年2回の「桜友会報」は皆様の会費と協賛広告によって制作されています。今後とも皆様のご協力をお願いするとともに、日頃の御礼を申し上げます。

さて、本号では、桜友会創立85周年記念事業のご報告を特集させていただきました。メイン行事でありました7月9日の学習院OB管弦楽団の記念演奏会には、皇太子殿下もご参加されベートーヴェンの第九交響曲「合唱付」などを演奏されました。客席に皇太子妃雅子殿下をお迎えできたことも桜友会員として誇らしいことでありました。演奏会後の記念式典・祝賀会には皇太子殿下にもお出ましいただき、お言葉も賜りました。当日の様子は特集記事でご覧いただければ幸いです。

また、85周年記念特別フォーラムを、10月29日に、藤原正彦お茶の水女子大学教授を講師に実施いたしました。講演内容の一部を本号で紹介いたしましたので一読下さい。

一連の記念行事が終わって、桜友会は90年の区切りへの一歩を踏み出します。「桜友会報」に対するご感想、ご意見・ご要望などがございましたら、桜友会事務局あてにどしどしお寄せ下さい。今後の編集の参考にさせていただきます。

情報発信広告委員会委員

- 委員長/黒川光隆(昭43政)
- 副委員長/吉江隆信(昭50仏)
- 田邊純子(昭29短国)
- 松平恒忠(昭36政)
- 堤 暁美(昭36短家)
- 児玉茂幸(昭39経)
- 杉 肇子(昭39哲)
- 鈴木昌明(昭41法)
- 朝来野静子(昭42英)
- 久邇朝宏(昭42物)
- 塩原祐吾(昭43法)
- 中村清昭(昭43法)
- 石寺俊典(昭43経)
- 鈴木寛子(昭46短英)
- 村松康行(昭47七)
- 佐野義規(昭47数)
- 長谷川かづ子(昭47短英)
- 善利秀臣(昭48経)
- 甲斐せつ子(昭49短文)
- 栗野彰子(昭50経)
- 金尾ゆき子(昭50短家)
- 鈴木紀久子(昭51仏)
- 阿部信一(昭58法)
- 五十嵐匡一(平10史)

桜友会役員候補者推薦用紙			
氏名	推薦者	推薦理由	備考

平成19年度

桜友会役員候補者推薦のお願い

役員候補者推薦委員会委員長 川瀬量平(昭34経)

桜友会は現在10万5000人を超える会員が活動する団体となりましたが、この会員の活動の中核を担っていたたく桜友会理事、監事および評議員からなる役員については、桜友会正会員の推薦を選任要件としていますこと高承のとおりです。

私ども役員候補者推薦委員会は、会則の定めるところにより桜友会正会員によって推薦された役員候補者各位を役員定数の一定数を改選する枠組みのなかで選考のうえ、第2次推薦のかたちで桜友会の決議機関である総会、評議員会上程する役目を担っています。

つきましては、今回も平成19年度の役員改選にむけて会員皆様に役員候補者として新しき人材の推薦をお願いいたしますが、推薦にあたられては桜友会

活動の基本方針

1. 母校学習院への支援強化
 2. 学習院の優れた伝統と文化の継承
 3. 情報の発信
 4. 会員サービスの充実
- に則り、積極的に活動されるご意思をお持ちであることを確認していただくことを推薦の条件とさせていただきます。

何卒各位には条件に合う有意な人材の推薦をもって桜友会の発展にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《締切日》平成19年1月31日(水)

《推薦役員》評議員(正会員の中からご推薦ください)、理事(評議員の中からご推薦ください)、監事(正会員の中からご推薦ください)

《用紙》指定の用紙をご利用ください

《その他》推薦人1名につき、各役職1名の推薦とさせていただきます。被推薦人を複数名で推薦される事はご遠慮ください。

問合せ・送付先/桜友会事務局

ますます活発になった桜友会 地方支部には新たな動きが

—東京城北桜友会 48番目の新発足

全国支部としては48番目、東京都地区桜友会としては6番目となる「東京城北桜友会」が6月4日新たに発足し、同日、設立総会がJ.R.王子駅前の北とびあを会場に開催されました。

河野文里学校法人学習院総務課長（昭57済）の司会で開会した設立総会。前田靖久発起人代表は「18年間海外で

過ごして帰国した時、日本や日本人にホッと、学習院が懐かしく感じられたこと」「桜友クラブや三藤ゼミを通じて学校や桜友会との関わりがあったが、地区の桜友会がなかったこと」などを挙げ、会の発足にあたって設立の経緯を説明しました。

昨年3月に北区の桜友会会員と発起人会を開催し、エリアを選定。9月には両区の代表による発起人会を開催し、翌4

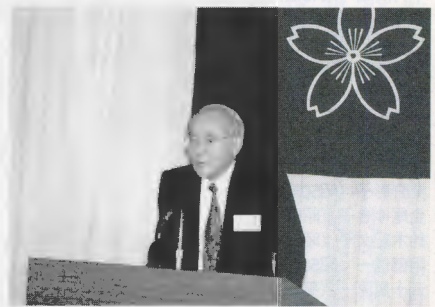
月には設立案内の連絡をしたところ、363名の賛同を得ることができました。

設立経緯の説明の後、前田靖久氏を満場一致で東京城北桜友会初代会長に選任し、来賓挨拶では亀井泓桜友会会長からご祝辞をいただきました。

設立総会に続いて懇親会を開催。前田会長、矢作三蔵学習院常務理事の挨拶、中條高德東京中央桜友会長（昭27政）の乾杯



設立総会には60名もの会員が参加



東京城北桜友会会長に就任した前田靖久氏

のご発声で開会しました。会場には、東京城北桜友会の会員約60名ほか、三野祥彦桜友会常務理事、善利秀臣八王子桜友会会長（昭48経）、千住貞夫府中桜友会副会長（昭31経）、田中弘邦江東桜友会会長（昭35経）、笹山健新宿桜友会世話役（昭50経）などの来賓が集い、発足を祝福。会の最後に院歌を声高らかに歌い、お開きとなりました。

東京都板橋区と北区に在住する同窓生の交流と親睦を目的に設立された東京城北桜友会に、ぜひご参加ください。

【役員】《会長》前田靖久（昭33政）、《副会長》久保田稔（昭36政）、古谷清惟（昭37政）、《監事》飯田寿一郎（昭38経）、廣水茂樹（昭41法）、《世話役》石渡恵樹（昭48政）、中村達（昭53政）、河野文里（昭57済）、足立正親（昭57済）、《会計》杉田寛（昭59法）、荒川久美子（昭59法）、須田浩光（昭59法）

桜友会全国・海外支部連絡先 (平成18年6月現在)

支部名	世話役氏名	電話番号
ハワイ	鎌田 優 (昭61営)	1-808-921-3536
カナダ	稲垣 長映 (昭24高)	1-604-986-5509
サンフランシスコ	(会) Morgan Y. 昭子 (昭35短英)	1-510-549-9490
ロサンゼルス	ヒグチ 雅子 (昭59済)	1-323-467-5066
シカゴ	高瀬 英子 (昭47法)	1-847-887-7488
ニューヨーク	馬越 恭弘 (昭50経)	1-212-688-5941
ワシントン	(会) CLOSE 美佐子 (勝山) (昭36英)	1-301-262-3946
ロンドン	Bolton 戸田美幸 (昭56経)	44-020-7373-1493
パリ	岡部 昌史 (昭51仏)	33-1-4530-1464
オランダ	横屋 正幸 (昭56独)	31-20-456-0447
オランダ	寺尾 實榮子 (昭30物)	32-10-45-1837
ベルリン	(会) Koerber H. 房子 (昭37英)	49-08151-51179
バンコック	竹内 正 (昭48政)	66-2-267-0727
シンガポール	小田 康人 (平4営)	65-338-0388
マニラ	渡辺 浩章 (平4英)	63-46-430-3800
台湾	渡下 謙司 (平4営)	02-2559-6255
韓国	金 全 (昭33政)	82-2-738-2555
豪州	(会) 宮地 謙 (昭43物)	612-8274-9311
ニュージーランド	(会) 生田 克彦 (昭62法)	64-9-306-6400
香港	世良 田子 (昭60営)	852-2633-0550
上海	岡本 武啓 (平4営)	86-21-5308-5566
北海道	山田 昭 (昭50経)	011-233-5125
北青森	細木 健一 (昭50英)	017-773-4422
青森	齋藤 健 (昭45政)	019-653-1850
宮城	伊勢 泰昌 (昭61英)	022-213-8611
秋田	石井 博雄 (昭61営)	018-862-4674
山形	鈴木 正明 (昭58法)	023-646-7306
福島	小泉 修一 (昭48法)	024-521-7786
茨城	服部 充雄 (昭42化)	029-276-1539
栃木	多々良 清 (昭47経)	028-633-1241
群馬	成田 邦夫 (昭41経)	027-352-4791
千葉	川村 都夫 (昭49法)	048-644-2317
茨城	北川 卓 (昭45経)	043-254-8132
千代田	勝 治雄 (昭54営)	045-651-0161

支部名	世話役氏名	電話番号
新潟	藤田 史彦 (昭62史)	025-244-6699
富山	朴沢 真理 (昭44短国)	076-492-4833
石川	宮川 知生 (平5営)	076-264-0161
福井	内藤 俊三 (昭46数)	0776-53-5061
山梨	常盤 幸久 (昭58化)	055-282-0272
長野	木長 春夫 (昭46経)	0263-34-5678
静岡	桑原 靖 (昭56営)	053-472-9455
愛知	後藤 安邦 (昭40物)	052-821-6111
西	関西 益田 英之 (昭38化)	072-694-5990
山陰	吉田 千恕 (昭39政)	0859-22-9214
岡山	有松 宏 (昭42政)	086-296-7272
広島	小田 賢太郎 (昭45経)	082-222-6691
山口	波多野 三三 (昭40物)	0836-31-5533
四国	板東 宏明 (昭41経)	088-632-6132
香川	藤村 和宏 (昭59経)	087-843-2792
徳島	黒田 浩司 (昭58経)	088-624-4774
高知	石川 征人 (昭41国)	088-832-4216
愛媛	高須 實 (昭55数)	089-951-0178
福岡	稲田 伸征 (昭47法)	092-716-7240
北九州	北九州 博己 (昭47経)	093-571-5601
佐賀	佐賀 永充 (昭54経)	0954-65-2172
長崎	渡辺 宣義 (平10政)	095-820-3204
熊本	前田 浩文 (昭40政)	096-286-8000
大分	大谷 豊久 (昭56経)	097-543-2114
宮崎	阿部 信一 (昭58法)	0986-58-2345
鹿児島	富田 完爾 (昭42経)	099-246-3110
沖縄	安慶田 久困 (昭51政)	098-868-5059
東京	渡邊 琢仁 (昭38経)	03-3414-6882
東京	江東 英之 (昭58経)	03-3643-0809
東京	新宿 健 (昭50経)	03-5325-2328
東京	八王子 伊奈 良行 (昭49法)	03-3928-5029
東京	府中 難波 茂丸 (昭39政)	042-302-8329
東京	東 河野 文里 (昭57経)	03-3935-3369
東京	鎌倉 石島 道章 (昭35経)	0467-23-3799
東京	湘南 浦田 憲一 (昭37経)	0467-83-4525

各地に桜友会の輪をつなぐ、お世話役がいます。

私たちの目指すものは、
正確・迅速で簡潔化
された二次情報です

- 当社は長年にわたる経験と豊富な実績に基づき、科学技術文献の加工・処理、即ち主として抄録作成、索引作成などを行い、情報検索のためのデータベース作りを行っております。
- 当社が対象とする科学技術の分野は広範囲にわたりますが、それぞれの分野に専門技術員を多数置いており、特許などの文献調査、翻訳なども併せてお引き受けしております。

どうぞお気軽にお声をかけて下さい

NTI

新技術情報株式会社

NEW TECHNOLOGICAL
INFORMATION INC.

〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-10
西新橋アネックスビル4F
TEL 03-5157-0410 FAX 03-3502-9955
http://www.shingijutsu.com/
E-mail:shingijutsu@nifty.com

代表取締役社長 金川 頼行

東京中央桜友会「三金会」サロンが誕生しました

東京中央桜友会では会員が集まりやすい場所と時間を提供するために毎月第3金曜日にサロン



毎月第3金曜日にお待ちしています

日時/毎月第3金曜18時から
場所/日本橋・中央桜友会サロン「STUD」
連絡先/渡邊琢仁
TEL 03・3414・6882

また、東京中央桜友会では「ゴルフ」「歩け歩け」「スケッチ」「音楽鑑賞」「グルメ」「落語鑑賞」の各部会を設け、会員の皆様に楽しんでもらえるイベントをたくさん企画しています。三金会と合わせて参加をお待ちしております。

を設けました。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

鎌倉桜友会「Xmasディナーパーティ」

平成18年12月2日、鎌倉桜友会恒例の「Xmasディナーパーティ」が鎌倉プリンスホテル・パンケットホールを会場に開催されました。今年はウクライナの音楽家でバンドウーラ奏者のオクサーナ・ステパニウツクさんとピアノ奏者の山川スージーさんをゲストに迎え、ウクライナ民謡とクラシックの名曲の数々を演奏いただきました。ステパニウツクさんは、数々のコンクールで優勝を果たし、ヴァチカンでは、ローマ法王の前で演奏もしています。「ウクライナの歌姫」と評される天使の歌声と60本の弦が奏でるハーブのようなバンドウーラの軽やかな音色に一同うっとり。しばし時間を忘れ、一足早いクリスマスパーティーを楽しみました。

関西桜友会「二木会」楽しい集いを企画中

1・8月を除く毎月第2木曜日に開催されている関西桜友会の講演会と懇親会の二木会。ガーデンシティクラブ大阪を会場に、懇親会参加費3000円に、懇親会も出席できます。今年7月は、森松洋氏(昭41政・元全日空)の「ANAのサーピス」、9月は南部征喜氏(武庫川女子大学)の「今とめられている健康」、10月は岩倉具忠氏(昭30政・京都外国語大学)の「諺にみるイタリア人気質」などの講演と、11月は京都競馬場特別室での競馬観戦などが行われ、興味深い様々な話を伺いました。来年も、楽しい集いを企画しています。1月17日(水)19時からは、ウエスティンホテル大阪で新年会を予定しておりますので、奮ってご参加ください。

島津名誉院長 名誉市民推戴を祝う会

都城島津家28代当主で学習院名誉院長の島津久厚氏(桜友会名誉会長)が宮崎県都城市(平成18年1月1日に都城市、山之口町、高城町、山田町、高崎町の1市4町が合併し誕生)の第1回名誉市民に選ばれ、その「名誉市民推戴を祝う会」が9月15日、都城市松元町のホテル中山荘で行われました。また、名誉市民推戴の贈呈式は7月22日に都城市総合文化ホールで行われました。祝う会には、島津名誉院長が名誉会長を務める宮崎桜友会の、加藤堅二郎会長(昭35経)や阿部信一世話役(昭58法)、福岡一実世話役補佐(昭62政)なども出席して、島津名誉院長の推戴をお祝いしました。

総会、ゴルフ、展覧会…… 各地で広がる桜友会の輪

岩手桜友会

公開講演と 松尾校舎閉校式

今年で岩手桜友会は発足30年となり、記念すべきこの年に第65回学習院公開講演を6月17日(土)盛岡グランドホテルにて開催しました。講演は、講師に波多野敬雄学習院長と池坊次期家元の池坊由紀氏をお迎えし、以下のテーマで行われました。

学習院長・元国連大使 波多野敬雄氏「外国から見た日本」
華道家元池坊・次期家元 池坊由紀氏「花を紡ぐ」

講演に続き合同懇談会が行われ、院長を始め先生方と地元の在校生御父兄、岩手桜友会会員に加え岩手県地域の協賛の皆様が楽しく歓談。特別に山岸伝統



公開講演後に行われた懇親会

さんさ保存会の方々に、普段お祭りでも見ることの少ない、盛岡伝統さんさを披露いただき、最後は参加者全員で学習院歌を合唱し、無事会を終了いたしました。会場となったグランドホテルは学習院卒業の加藤様がおナーであり、いろいろとご便宜をいただきました。ありがとうございました。

翌日6月18日(日)は学習院八幡平松尾校舎において、学習院の科長、学長先生他多くの学校関係者、岩手桜友会会員、そして地元からは八幡平市長、元松尾村村長、校舎の管理に携わって来られた旧松尾村の斉藤さんご夫婦を始め多くの皆様の参加の下、当地にて同閉校式が行われました。晴れ上がった青空の下、校舎入口前での記念の石碑の除幕式、校舎内での閉校式の順に行われました。

学習院卒業の皆様の中にはこの校舎での思い出をもたれる方が数多くおられることと思います。学習院の校舎としてはその役割を終えますがこの場所は公園として整備され、いつまでも石碑とともに想い出の地として残して行きます。ぜひ皆様も八幡平松尾村への感謝、想い出を忘れずお出下さい。

北海道桜友会

第32回定時総会

第32回の北海道桜友会定時総会が5月11日、アートホテルズ札幌で開催されました。本年も全道から50名が参加、来賓として本部から内藤副会長に出席いただき、平成17年度の事業報告、平成18年度の活動計画等、活発な議論のもと承認されました。その後は懇親会を開催、和やかな懇談の後はビンゴゲームで盛り上がり、学習院院歌の大合唱で最後を締めくくりました。

2次会も大カラオケ大会となり、会員のパフォーマンスや熱唱で深夜まで盛り上がりましました。

福島桜友会

ゴルフコンペ開催

学習院福島桜友会ゴルフコンペが平成18年6月4日にボナリ高原ゴルフクラブで行われました。当日は晴天に恵まれ、磐梯山と安達太良山の雄姿を眺めつつの最高のゴルフを楽しみました。参加者18名で、優勝は松本一人さん(昭50経)、2位は草野惇さん(昭37経)、3位は芹澤征嗣さんでした。表彰式には光栄にも松平保定様(理事長・昭22旧高)にお出ましました。松平家の家紋入りの会津葵の落雁を全員にいただきました。

栃木桜友会

山籠り大会開催

10月28、29日、栃木桜友会「山籠り大会」を開催しました。元・山岳部の佐山正樹氏(昭51法)の案内で、光徳小屋の傍を流れる小川を渡り道なき道を散策、何百年も立っていたのかと思わせる古木が倒れ掛かって苔むし、他の山々では見られない景色でした。小一時間で光徳牧場に着。ゆったりと放牧された馬や牛を見ながら遠くに唐松が今、正に紅葉の真っ盛り。光徳牧場のソフトクリームをほおばった後、大久保直重先輩(昭28高)の8人乗りの車で志津小屋までの悪路を進むとそこから見る太郎山・大真名子山の麓の唐松は今が最高の紅葉でした。

光徳小屋への帰路、契約している日光アストリアホテルへ。乳白色の温泉で一休み。光徳小屋に戻りいよいよ夕食。佐山氏特製の野菜たっぷりのシチューと鍋谷千賀子(昭37短英)手製のロールキャベツ。それに参加者が持ち寄ったアルコール類を片手に大いにリラックス、新しく管理人になられた堺弘・恵子ご夫妻も加わり、素晴らしいディナータイムとなりました。

酔いを覚まそうと表に出ると都会では中々目にする事のできない星座・オリオンが見えてこられた大感激でした。

群馬桜友会

碓氷峠鉄道文化むらで

5月28日に松井田にあります、碓氷峠鉄道文化むらにおいて、学習院群馬桜友会総会が行われました。

この時期ずっと雨でしたが、この日に限り心配された雨は降りませんでした。皆様強運ですね！ トロッコ列車なり、パーベキューなり、ビンゴなり、温泉なり、散歩なりなどと、皆それぞれ楽しんでいただけだと思います。

また、長野桜友会の方々もお見えになりました。ありがとうございました。

江東桜友会

下町・森下で総会

江東桜友会総会が6月25日、江東区の森下で開かれました。梅雨にもかかわらず当日は晴天に恵まれ、会場には江東桜友会の田中弘邦会長(昭35経)をはじめ、前会長の小関忠徳氏(昭34政)など江東区ゆかりの桜友会員が多数集まって、懇親の和を深めました。

また、桜友会からは東園基政副会長にご出席いただきました。落語会が行われたり、深川めしの本家「割烹みや古」の料理に舌鼓を打ったりと、盛会のうちを終了しました。

「等身大の住まい」を 高性能でかなえる 「マイレーヴ」

洗練された8つの外観。
ライフスタイルに合わせた92の基本プラン。
ゆとりと心地よさを実現する3つの機能を標準装備。
あなたの想い描く夢を
マイレーヴでかなえてください。

3.3mあたり **54万円**～

3つの
高性能

一般的な住宅より+20cm **2.6mの高天井**

省エネ&空間創造を実現 **屋根断熱**

次世代省エネ基準をクリア

MYREVE



カタログプレゼント!

「マイレーヴ」をご紹介したカタログと「マイレーヴプランコレクション」の2冊をセットで、ご希望の方にさしあげます。お気軽に下記までお申し込みください。

カタログ請求・お問い合わせは下記まで

0120-321-406

ホームページ www.mitsuihome.co.jp

QUALITY × DESIGN

三井ホーム

三井ホーム株式会社 首都圏営業本部

〒163-0415 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル14階

(お客様情報の利用目的について)
お問い合わせ、資料請求でお預かりするお客様の個人情報は、お客様の住まいづくりに関する三井ホームグループからの情報提供、販売活動に使用するため、「個人情報保護法」に関する法律」その他の法令に定める場合を除き、お客様情報をあらかじめお客様の同意を得ることなく、第三者に提供することはありません。

桜友会通信

ハワイ桜友会 春の総会開催

2006年5月22日、ホノルルのレストラン・サントリーにてハワイ桜友会の総会が開催され、楽しい会食の時間を過ごしました。ハワイ桜友会は1993年4月に発足し、今年で13年目にあたります。

この度、終身会長と会員各位から慕われておられた井原高忠氏がアトランタにご家族で引越される事となり、また会長であられた日本航空ホノルル支店長の中島喜盛氏が福岡支店に転勤になりました。

今回の総会にて、下記の通り新会長および役員が承認決定されました。

《名誉会長》井原高忠、《会長》岸井孝輝、《理事》諫山皓一、大塚均、鎌田優、迫田隆子、サットン雅代

ワシントンDC桜友会 フレンチレストランで

今年のワシントン支部桜友会は6月17日、メリーランド州ベセスダのフレンチレストランにて行われました。

現役幼稚園生から卒業後半世紀近くが経つ方々まで、13名が集まりました。

出席者は土橋さん(昭34法)、クロースさん(旧勝山、昭36英)、グレッグさん姉妹(旧中村、昭32高、実吉さん)、中山さん(旧岩崎、昭53政)、石島さん夫妻(平一高、平5政、現幼)、有元さん(平1法)、白井さん(昭62高)、佐藤さん(昭63短)、甲良田齊藤、昭57法でした。

ワシントン、メリーランド、バージニア近辺の方々、DC支部会長クロース美佐子さんまでご連絡ください。ワシントンDC支部 甲良稲子

活発な活動を続ける 自動車部「桜轎会」

自動車部のOB・OG会の桜轎会は毎年、ゴルフコンペや桜轎会報の発行をはじめ活発に活動を行っています。

今年度は4月16日の総会から始まり、ドライブ会、ゴルフコンペなどが行われています。

9月9日から10日にかけてのドライブ会は、現役員と合同で諏訪湖方面へ行き、10月6日には故近藤正夫先生からいただいた優勝カップを争う、「第10回近藤杯ゴルフコンペ」が上野原カントリークラブで開催されました。

また、平成19年3月9日には、「故近藤正夫先生を偲び先生に感謝する会」を予定しております。より多くの自動車部OB・OGの方々の参加をお待ちしております。

オール学習院書展 今年で40回目

9月2日から4日にかけて創立百周年記念会館で、桜友会員はじめ、学習院関係者が出席したオール学習院書展が開催されました。今回で第40回を数えるオール学習院書展は、300点以上の書が集まり、過去最大の規模でした。また霊元天皇に始まる有栖川流書道の継承者でもある秋篠宮殿下や常陸宮妃殿下の書も出展され、多くの方が立ち止まり、じっくりと鑑賞していました。他にも細川護国元首相や、現役の初等科生から大学生まで、多くの方が特徴ある自分の書を出展していました。

また留学生の作品などもあり、静かな文化交流が進んでいることも実感できます。次回もまた、多くの方々の作品を心待ちにしています。

桜友会ハワイアンクラブ 10月14日に設立

10月14日、目白の輔仁会館2階さくらラウンジで、桜友会ハワイアンクラブの設立会合がありました。この会は数年前に発足した「ハワイアン桜友会」を改名、再出発したものです。

去る4月には、常陸宮妃華子殿下をお迎えし、約70名の会員の参加を得て、プレ会合を開きました。また、7月にはハワイアン桜友会とアジア教育支援の会主催で「第5回アイランド・サウンド・フェスティバル」を開催。百周年記念会館を会場にOB・OGが楽しいハワイアンコンサートを繰り広げました。今回の設立会合にも多くの方々のご参加をいただき、盛会のうちに会合を終えることができました。どうもありがとうございました。

輔仁会で、職域で、 新旧会員との交流が盛んに！

ドイツクラブOB会

講演会と懇親会を開催

学習院大学ドイツクラブOB会は、例年「オール学習院の集い」でOB会員と学生会員と交流の場を設けてきました。

第1部は恩師、来賓、先輩から講師を招き講演会を行い、第2部としては場所をかえてワインカフェを開きOB会員がドイツ料理を持ち寄り、ワインを賞味しながら温故知新の懇親の場としてきました。

平成18年はドイツワールドカップにちなんで、学習院ドイツクラブOB会員で「日独スポーツコーディネーター」として活躍中の石井学氏が「ドイツサッカー史と今ワールドカップの展望」という演目で話してもらいました。ドイツサッカーに造詣が深い氏の話を聞き、終わりに氏の近著「ドイツへ行こう！」のサイン会で盛り上がりました。ワインカフェでの懇親会は新旧ドイツクラブの会員同士の世代を超えた交流で熱気をおび、時間がたつのを忘れていました。

B会幹事長



ドイツクラブOB会「石井学氏講演会」

現役学生も出席したOB会

シェイクスピア研究会

平成18年4月16日、「オール学習院の集い」に合わせて、「シェイクスピア研究会・シェイクスピア研究2006」を行いました。

会は2部構成として、第1部では数々の舞台で活躍中の名優・立川三貴氏をゲストに講演会を、第2部では目白駅隣のレストラン・フィオレンティーナで懇親会を開催しました。

第2部では懐かしの先生も出席いただき、シェイクスピアや近況報告などの話に花が咲きました。ぜひまた来年も。

写真部OB会

第54回びんぼけ総会

深緑が目にも染みる青葉の6月、今年もびんぼけ総会が院内「さくらラウンジ」で行われました。大学写真部顧問の中野春夫先生はじめ大学・女子大学の現役まで60余名が出席し、学生時代の思い出話などに花が咲き、終始和やかなうちに終了しました。

また恒例のビンゴ大会の売り上げ金の一部は現役の部活動に寄付されました。来年は第55回の節目の年にあたり、さらに充実した内容の総会にしたいと幹事一同考えております。ぜひご来場をお待ちしております。



今年のびんぼけ総会の記念スナップ

鹿島建設グループ桜友会

7月3日に開催

平成18年7月3日、鹿島本社ビル19階ラウンジにて鹿島建設グループ桜友会が開催され、全国各地から計35名の方々が集まりました。

会の冒頭にて、鹿島建設グループ桜友会会長の秋山豪取締役兼専務執行役員（昭39政経）より、故田島院長への哀悼の意が述べられるとともに、

新たに波多野新院長が就任された旨のご紹介がありました。

続いて、渥美直紀代表取締役副社長（昭40中）より、故田島院長のご温情に対する感謝の念を込めつつ、献杯が発表されました。

鹿島建設グループ桜友会は、年1回、全国の鹿島桜友会会員が集まる場であることから、会員は皆楽しみにしておりますが、特に今年は新入社員である宮内理恵子（平18史）さんの歓迎と、日名子喬常務執行役員（昭43政）のご昇進のお祝いを兼ね、終始、和やかな雰囲気の中、



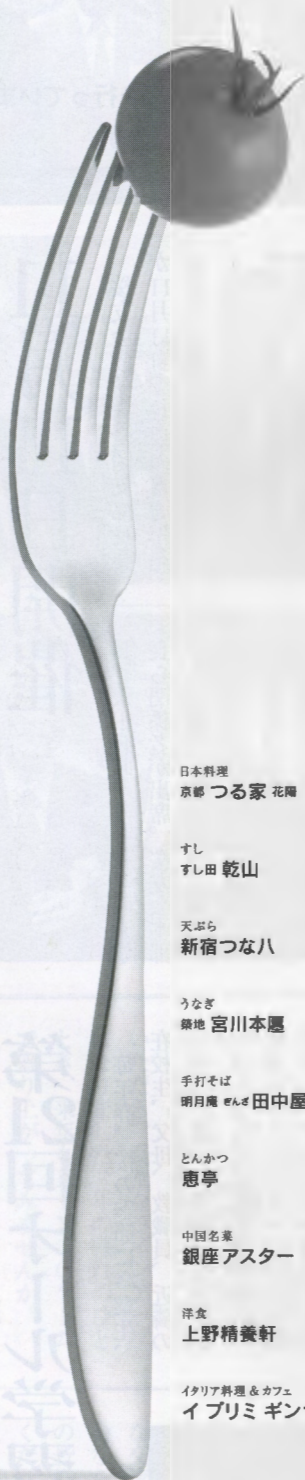
全国各地から35名が集まりました

ひさびさに会う先輩後輩と旧交を温めました。

会では、新会員及び遠隔地からの出席者を中心に近況報告があり、最後に石川洋取締役兼専務執行役員（昭46初）により、中締めが行われ、学習院のさらなる発展と、関係者のご多幸を祈念しつつ、盛大裡の中、閉会しました。

田村誠（昭56政）、村川隆洋（平9法）記

OF
レストランシティ
GINZA



日本料理
京都 つる家 花陽

すし
すし田 乾山

天ぷら
新宿 つな八

うなぎ
築地 宮川本屋

手打そば
明月庵 亀ヶ田中屋

とんかつ
恵亭

中国名菓
銀座 アスター

洋食
上野精養軒

イタリア料理 & カフェ
イプリミギンザ

営業時間

各店

11:00 a.m. - 10:00 p.m.
(ラストオーダー 9:30 p.m.)

松屋銀座 = 〒104-8130 東京都中央区銀座3-6-1
電話 03(3567)1211 大代表 www.matsuya.com

MATSUYA GINZA

桜友会通信

日本生命桜友会
5年ぶりの総会

この度、5年ぶりとなる「日本生命桜友会総会」が、平成18年5月17日(水) KIHACHU銀座店で盛大に開催されました。

当日は、45名が出席する盛会となり、寺田営業教育部長(昭54法)の挨拶と、乾杯の発声で開会。日頃、顔を合わせる機会が少ないこともあり、仕事の話からプライベートの話まで、笑顔の絶えない情報交換が行われ、時を忘れ、心が弾む宴となりました。

最後に、三枝横浜支社長(昭53済)の閉会挨拶にて、盛会を締めくくりました。
卒業して何年経っても「学習院」というキーワードで結ばれているこの関係を、『ずっと』と『大切に』し、育んでいきたいと考えております。

出版桜友会

第29回例会を開催

今年で29回を数える出版桜友会の例会が6月21日、輔仁会館2階のさくらラウンジで開催されました。来賓として、波多野敬雄学習院長や内藤頼誼桜友会



来年はいよいよ30回目を迎える出版桜友会

副会長にご来場いただき、盛大に開催いたしました。

出版社だけでなく、書店や取次会社などで活躍している出版関係者に今年も多数ご参加いただき、会場には軍事評論家として活躍する岡部いさく氏(昭53仏)らの姿も。会の最後には、恒例のスピーチタイム

も設けられ、今年入社したばかりの新人社員を中心に、昔フレッシユだった関係者まで、近況報告や仕事内容のPRなどを行いました。同業種桜友会として、年々懇親の輪が広がっている出版桜友会。この会を機に、新たな付き合いが生まれたという話も聞きます。来年も開催する予定ですのでも、出版関係者の皆様、ご参加ください。

医歯薬桜友会

7月29日に総会開催

医歯薬桜友会の第26回総会・講演会・懇親会が7月29日、百周年記念会館4階・第四会議室で開催されました。総会では高倉公朋医歯薬桜友会会長(昭26高・東京女子医科大学学長)が挨拶、庶務報告、会計報告などが行われました。続いて講演会を開催。今年には東京都南新宿検査センター副室長の小島弘敬氏(昭30高)を演者にお迎えし、「エイズの蔓延状況から見た世界諸国の実情」をテーマにお話いただきました。

また、講演会の後、輔仁会館のさくらラウンジに会場を移して懇親会を開催。亀井泓桜友会会長にも来賓としてご出席いただきました。



エイズをテーマに講演をした小島弘敬氏

を紹介しているほか、医歯薬桜友会会員の開業先の紹介もしています。
<https://oukaitec.gakushuin.ac.jp/job/medical.htm>

INFORMATION

活動報告とお知らせ

桜友会では、事務局・情報・組織・親睦・母校支援の各部に属する委員会でさまざまな取り組みを行っています。
ここでは、それら桜友会本部のレポートを中心に、学習院の最新情報などもご紹介します。

記念会館3階小講堂で行われた全国支部長会の懇親会



秋の全国支部長会 11月11日開催

桜友会の秋季全国支部長会が11月11日、目白の百周年記念会館3階小講堂で開催されました。秋季の支部長会は学校法人学習院との共催で、学校側からは波多野敬雄学習院長

長、永田良昭・永井和子両大学長ら関係者が出席。桜友会本部からは亀井弘会長をはじめ、草刈廣副会長、内藤頼誼副会長、東園基政副会長、耀英一副会長ら、役員が出席しました。また、

東京城北桜友会が新たに設立されて48になった全国支部からも、多数の関係者が出席しました。

学習院と大学・女子大学の現況報告が行われた後、学習院大学の森川正和就職部長、女子大学の牛山芳明就職部長から就職状況の報告が行われました。また、6月の盛岡、10月の横浜と2回にわたって開催された学習院公開講演の報告も広報課から行われました。

平成19年も桜の下に集う 第21回オール学習院の集い

毎年春、桜の季節に卒業生、在校生、父母、教職員、近隣の住民らが集い、親睦と交流を深める「オール学習院の集い」。平成19年も目白キャンパスで開催されます。この季節は1カ月にわたって次から次へと咲く、様々な種類の桜を楽しめるのも魅力のひとつです。

桜友会では毎回、日本各地の蔵元からお酒の協賛を受け、啗き酒会を催しています。美味しいお酒と楽しい会話で好評を博しているこの啗き酒会。目白の森で全国の銘酒を味わいに、家族、友人を誘って参加してみたいかがでしょうか。
日時／平成19年4月15日(日)
場所／学習院目白キャンパス

〔参加団体募集〕
「第21回オール学習院の集い」では現在、参加団体を募集しています。懐かしの先生や同級生、

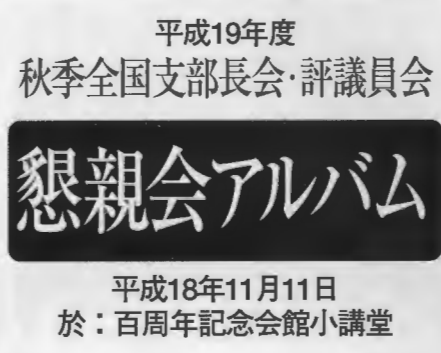
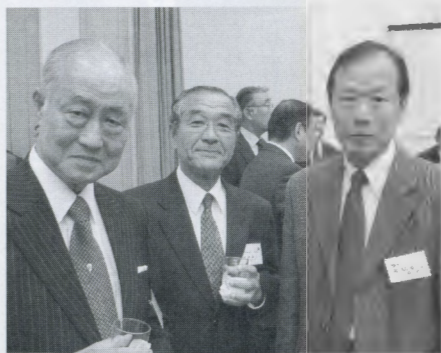
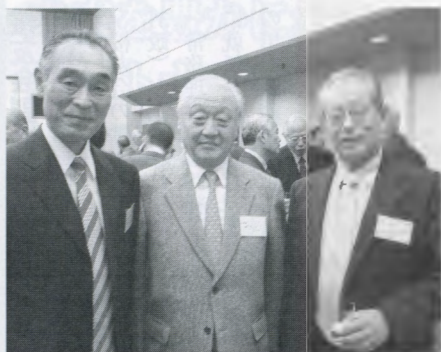
平成18年度 啗き酒会協賛社

- 六花酒造 (青森県)
- 栗林酒造店 (秋田県)
- 奥の松酒造 (福島県)
- 中川酒造 (新潟県)
- 萩原酒造 (茨城県)
- 小澤酒造 (東京都)
- 野口酒造店 (東京都)
- 吉野酒造 (東京都)
- 喜久水酒造 (長野県)
- 高澤酒造 (長野県)
- 白鶴酒造 (兵庫県)
- 宇都宮酒造 (愛媛県)
- 司牡丹酒造 (高知県)
- 土佐酒造 (高知県)
- 田苑酒造 (鹿児島県)



毎年大人気の桜友会「啗き酒会」

部活仲間とのひと時を過ごすには絶好の機会です。
募集企画／各種会合(同窓会、クラス会、父母会、ゼミOB会、輔仁会OB・OG会、職域桜友会など)、各種イベント(スポーツ親善試合、展示会、演芸会など)、その他
参加申込み締切／平成19年1月6日(土)
申込み・問合せ／桜友会事務局



平成19年度
秋季全国支部長会・評議員会

懇親会アルバム

平成18年11月11日
於：百周年記念会館小講堂

輔仁会OB・OG会代表者会 11月24日に開催

11月24日、創立百周年記念会館において、各輔仁会OB・OGが集まり代表者会が開かれました。

部活動での強い結びつきということもあり、卒業後もそれぞれにつながりがあるようです。運動部、文化部の垣根を越えて、会場のあちらこちらで情報交換が行われていました。

また、桜友会からは、輔仁会の成績優秀団体には助成金などが支給されています。運動部、文化部ともますます現役の活躍が期待されるようです。

会場を「赤ブリ」に変えて チャリティチェリーパーティー

今年で40回目の「チャリティチェリーパーティー」が12月16日に開催。例年、東京プリンスホテルを会場に開催していましたが、今年は赤坂プリンスホテルの五色の間が会場に。今年も恒例のBINGOゲームが行われ、賞品も関係各社からご協賛いただき、豪華なラインアップになりました。年の暮れのひととき、来年もBINGOゲームで盛り上がりませんか。

《問合せ》桜友会事務局Ⅷ03・3988・3288

平成19年桜友会 新年会へのお誘い

毎年恒例の桜友会新年会が平成19年も開催されます。今回は、霞会館が改装工事のため学習院創立百周年記念会館小講堂に場所を変えて行います。同窓の方々の、年の初め挨拶を懐かしの学び舎でしてみませんか。

《日時》平成19年1月9日(火) 18時から

《場所》学習院創立百周年記念会館小講堂

《会費》5000円(当日受付)

《申込み締切》平成18年12月22日

《申込み》桜友会事務局

学校関係者も出席、 職域桜友会のご案内

毎回多くの企業や職域関係者が集まる職域桜友会。学校関係者も出席し、各企業や職域の方々へ就職状況の報告などが行われます。

各企業桜友会、各職域桜友会関係者の方々は後輩たちの状況を知ることができ、職域横断的な交流が持てるのも、同窓会の会ならではの。各企業の職域担当の皆様、この機会にぜひご出席ください。

《日時》平成19年2月23日(金)

《場所》東京虎ノ門・東京會館(霞ヶ関ビル35階)

桜友会副会長に耀氏、事務長に福岡昌之氏就任

桜友会の村上智也副会長（昭31政）が退任され、新たに耀英一常務理事（昭39経）が副会長に就任されました。また事務局の黒田俊顯事務長が退任され、福岡昌之事務長が就任されました。また元桜友会副会長の池田浩規氏（昭33政）が桜友会顧問に就任されました。

学習院 ジュニア・オーケストラ 第13回定期演奏会

毎回、多くの方々を集める学習院ジュニア・オーケストラの定期演奏会が、来年1月に開催されることとなりました。

平成5年の発足以来、年々注目度を増してきたジュニア・オーケストラの演奏。毎年4月のオール学習院の集いでも活躍しているの、演奏を耳にされた方も多いことでしょう。ご家族やご友人を誘い合って、楽しんでみてはどうでしょうか。

日時／平成19年1月28日（日）
13時30分開場、14時開演
場所／学習院創立百周年記念会館正堂（入場無料）
指揮／福田一雄

曲目／ジョン・ウィリアムズ作曲 組曲「スターウォーズ」、ドボルザーク作曲 交響曲第9番「新世界より」ほか

より充実した教育環境を。 「学習院教育改革推進募金」

学習院は、平成18年度から6年間、新たな教育改革を行うための募金活動を開始しました。これは平成14年度に開始した「学習院新長期計画」の募金活動の後期にあたるもので、使途は主に大学や女子中・高等科の新校舎建築、その他の教育・研究設備更新などになります。これまで、初等科の少人数教育の実現、中・高等科新校舎建築、法科大学院設置、キャンパス環境の整備などの実績を残している、この6年間で80億円を目標に活動しています。

また、従来の募金方法の他にも「学習院サポーターズ倶楽部」という方式を作り、より簡単に募金できるようにしました。このサポーターズ倶楽部は、2万円以上の寄付を5年以上、または1万円以上の寄付を10年以上継続するかの、どちらかを確約した個人、団体、法人が対象となり、毎年、倶楽部会員の預金口座から自動振替で学習院へ募金される仕組みになっています。寄付金が10万円に達した段階で学内に設置予定の会員銘板に名前が印字されることになっています。

問合せ／学習院教育改革推進募金本部TEL 03・3986・0221（代表）

今年は土佐へ、第15回桜友会旅行会開催

今回の旅行会は、今、NHKの大河ドラマ「功名が辻」で熱い南国土佐・高知県へ、10月21日と22日の2日間、訪れました。天気にも恵まれ、秋晴れの中、参加者42名で楽しく賑やかな会となりました。

山内家第19代当主の山内豊功氏（昭40修化）も参加者として同行していただき、土佐山内家ゆかりの史跡や文化財を拝見しました。

桂浜の坂本龍馬像や高知城、県立文学館なども巡り、食事は郷土料理の皿鉢料理も楽しみました。旅行会当日は「土佐二十四万石博」の会期中（平成19年1月8日まで開催）で、市内は大変混雑しましたが博覧会の主催団体、高知県観光コンベンション協会の副会長を務める高知桜友会澤田輝夫会長（昭33政）のご尽力で、会場内もスムーズに見学することができ、有意義な時間を過ごせました。

そして1日目の夜には宿泊先ホテルで、地元高知桜友会会員との懇親会も開き交流を深めました。

また今回は、参加者の希望による2泊3日コースも設定し、旅行会解散後、最後の清流四万十川と足摺岬へも足を延ばしました。

二二理高会 同窓会を開催

春たけなわの4月21日、われら昭和22年旧制高等科理科に進学した仲間19人は、知野光志君（昭25旧高）の世話で有楽町駅前の日本外国特派員協会（通称プレスクラブ）に参集した。当日の珍客は医師の緒方幸雄君で、長年お互い会っていないから相手の確認に手間取る騒ぎであった。皆、喜寿年齢に近づいてきたが、国際色豊かな雰囲気と料理を満喫し旧交を温め、来年もここに集まろうとの声が多かった。

文／原雄次郎（昭25旧高）



日本外国特派員協会に集った仲間たち

北山財政ゼミ 恐慌と不況の歴史を学ぶ

北山富久二郎教授没後22年目の今年の総会は4月14日、東



36人の出席者が銀座に集いました

京・銀座のレストランで開催。今回のレクチャーは、野村雄三氏（昭31経）。「歴史に学ぶ昭和金融恐慌と平成大不況」が主題で、大正末期から昭和初期の恐慌と平成の長い不況とを実際の事象と比較し、なぜ歴史は繰り返すのかという大テーマの投げかけとなりました。

出席者36名による質疑応答も熱を帯び、かつての財政ゼミの再現といったシーンが展開されました。出席者の一人がこうつぶやいたのが印象的でした。

——北山先生どっかそのへんに座っておられるんじゃないのか——と。

文／金原循一（昭34経）

ひとりよりふたり、
未来を豊かに歩む
パートナーを
見つけませんか。



信頼のブライダルアシスト
ご成約
2380組

お申込み資格

桜友会の皆様およびご家族とごご紹介による方々です。お電話いただければ、申込書を郵送いたします。

お申込金

申込金は63,000円(税込)で、その他には月会費等の費用は一切ありません。DCカードなどもご利用いただけます。

安心のシステム

プライバシーは厳守されていますので安心してお申込みいただけます。

三菱グループ設立の結婚紹介センター
ダイヤモンドファミリークラブ

お気軽に資料をご請求ください
TEL(03) 3405-8261

ホームページ
<http://www.diamond-familyclub.com>

〒107-0061
東京都港区北青山1-2-3 青山ビルディング11階
地下鉄(銀座線・半蔵門線・大江戸線)
青山一丁目下車 北青山方面0番又は1番出口

桜友会通信

野村ゼミ(民法)
OB・OG会

平成17年12月10日、学習院大学学生食堂において、野村ゼミ(野村豊弘教授の民法ゼミ)のOB・OG会を開催いたしました。

OB・OG、現役合わせて約40名が集い、思い出話や近況報告に会話も弾み、和やかな雰囲気の中、楽しい交流が行われました。

ご多忙の野村先生のご都合により、今年度はゼミは行われませんが、今後もOB・OG会を開催し続けることを誓い合いました。

今後とも多くの皆様のご参加を楽しみにしております。また住所



野村先生を囲んで楽しい交流が行われた会

などが変わられて、会の通知が届かない方は左記までご連絡ください。

新庄奈央(平18法)
TEL 03・3305・7305

**常陸宮杯第41回
桜友会秋季ゴルフ大会**

9月26日、神奈川県横浜市の程ヶ谷カントリー倶楽部で、恒例の桜友会ゴルフ大会が開催されました。今回は常陸宮杯を目指して123名もの会員が参加し、賑やかな大会となりました。その栄えある常陸宮杯を手にしたのは庄田均氏(昭44政)、2位の院長杯は大野了一氏(昭47政)が受け取りました。女子では吉田公子(昭43短家)、シニアは宮地弘純(昭37政)、グラウンドシニアは重示信止(昭33政)の各氏が優勝しました。大会後はいつものように成績に関わらず、皆さん表彰式とパーティで楽しく懇親を深めました。また平成19年3月27日(火)には桜友会長杯を競う、第20回桜友会春季ゴルフ大会を予定しています。

**学習院生涯学習センター
冬期講座申込み受付中**

「脳力アップ」や「脳を鍛える」といった商品が人気を博していますが、新たなことを学ぶことも脳力アップにつながります。毎回、特徴ある講座を開講している学習院生涯学習センターでは、今冬も魅力的な講座を多数予定し、現在申込み受付中です。

今回の冬期講座では、「源氏物語夢の浮橋巻」「仏教美術の世界」「桃山時代のやきもの」「ナボリのカンツォーネを聴く」

「雅楽ワークショップ」「カリグラフィー入門」「花ときめきいけはなの魅力」「お母さんのための言葉と数の教室」「パーソナルカラー」「暮らしを楽しむティーブルコーディネート」「株式投資講座」「就職のためのマスコミ文章論」「プリザーブドフラワー講座」など、注目の講座も用意されています。受講料は3000円〜3万9300円(講座により異なる)。ご家族や友人を誘って、脳力アップしてみたいかがでしようか。

19年春期講座(約140講座開講予定)のパンフレットは2月下旬完成予定。お気軽にご請求ください。

《問合せ・申込み》
学習院生涯学習センター
TEL 03・5992・1040
fax 03・5992・1124
<http://www.gakushuin.ac.jp/open/>

2007年も奮つて 桜友会活動にご参加を!

桜友会活動実績と 今後の行事予定

- 平成18年度主な活動実績
- 4月7日 富山桜友会総会
- 4月15日 春季全国支部長会・評議員会
- 4月16日 第20回オール学習院の集い
- 4月19日 神奈川桜友会総会
- 4月22日 八王子桜友会総会
- 5月11日 北海道桜友会総会
- 5月13日 湘南桜友会総会
- 5月16日 新宿桜友会総会
- 5月25日 桜友会総会・評議員会
- 5月26日 香川桜友会臨時総会
- 5月27日 新潟桜友会総会
- 6月3日 宮城桜友会総会
- 6月4日 東京城北桜友会設立総会
- 6月10日 東京中央桜友会総会
- 6月17日 静岡桜友会総会
- 6月17日 第65回学習院公開講演(山手)
- 6月25日 江東桜友会総会
- 7月8日 埼玉桜友会総会
- 7月9日 桜友会創立85周年記念式典祝賀会
- 7月12日 群馬桜友会「皇太子殿下」来県懇談会
- 7月22日 福岡桜友会総会
- 8月26日 佐賀桜友会総会

- 9月16日 岩手桜友会総会
- 平成18年度12月以降活動予定
- 《平成18年》
- 12月16日(土) 第40回チャリティ・チェリーパーティ
- 12月16日(土) 第10回就職セミナー(赤坂プリンスホテル)
- 12月16日(土) 第10回就職セミナー、学部別模擬面接体験セミナー(学習院大学内)
- 12月17日(日) 女子大学面接対策セミナー①(学習院女子大学内)

- 《平成19年》
- 1月9日(火) 桜友会新年会(百周年記念会館)
- 1月21日(日) 女子大学面接対策セミナー②(学習院女子大学内)
- 2月17日(土) 大学面接対策セミナー①(学習院大学内)
- 2月18日(日) 大学面接対策セミナー②(学習院大学内)
- 2月23日(金) 職域桜友会(東京會館)
- 3月8日(木) 第168回例会(百周年記念会館)
- 3月27日(火) 第20回桜友会春季ゴルフ大会

今年も開催、準会員支援「面接対策セミナー」

平成17年度の最終的な就職率は、学習院大学が96.6%となり、学習院女子大学が96.1%となりました。景気が回復し、売り手市場といわれている中でも、共に90%以上というのは大変な高率だといえます。特に女子大学の金融機関への就職率の高さは群を抜き、全国的にも知られるようになってきました。

これらの高い就職率の一端を担っているのが、桜友会の「準会員就職支援委員会」です。そのメインとなる「面接対策セミナー」は、すでに20年近く続き、このセミナーを受けた学生が、今度はセミナーを行う側に回ってたりもします。毎回1000名近い学生と約200名の講師陣が出席し、熱い面接対策指導が行われます。そしてここから学生の就職活動にも一段と拍車がかかります。

また今年度からは、講師の数が増えてきたこともあり、指導力のさらなる向上と、セミナーの内容の均質化を図るために、講師側にもセミナーを行っていただきます。

学習院女子大学では12月17日と1月21日に、学習院大学では2月17・18日に、それぞれセミナーが開催されることになっていきます。

平成18年度桜友会役員名簿

<<会長>> 亀井 弘 (昭24日高)	飯野 浩一 (昭63営) 夏目 勳嗣 (平2法)	中村 清昭 (昭43法) 六車 徹 (昭46経)	鈴木 征 (昭43化) 諸戸 典子 (昭47政)	原口 兼義 (昭13日高) 宮入 清 (昭14日高)	浅野三千秋 (昭29化) 草野 和雄 (昭29化)
<<副会長>> 草川 廣 (昭31政) 内藤 頼誼 (昭29高) 東園 基政 (昭36物) 耀 英一 (昭39経)	<<理事>> 松方 康 (昭26高) 三松 奎作 (昭30政) 久保 治彦 (昭32政) 安田 正 (昭30高) 大井 昭彦 (昭34経)	善利 秀臣 (昭48経) 坂野 雅俊 (昭54政) 山本 孝広 (昭61営)	監物由美子 (昭49政) 唐澤 博幸 (平3法) 金田 雅律 (昭44経) 高森 邦彦 (昭54政) 竹田 裕彦 (昭56法)	小山 芳敬 (昭18日高) 永山 武臣 (昭20日高) 坊城 俊周 (昭22日高) 松平 保定 (昭22日高) 吉井 滋 (昭22日高) 中山 兼光 (昭23日高) 正田 宏二 (昭25日高)	小林 規子 (昭29短家) 勝 治信 (昭30経) 湯本 和子 (昭30経) 吉岡 博光 (昭30経) 柏木 雅子 (昭30英) 角 雄三 (昭31政) 橋本 明 (昭31政) 廣部 周助 (昭31政)
<<常務理事>> 大和田 孝 (昭37化) 三野 祥彦 (昭39経) 奥津 好恵 (昭41英) 林 なおみ (昭42数) 黒川 光隆 (昭43政) 金田 雅律 (昭44経) 大野 了一 (昭47政) 吉江 隆信 (昭50仏) 松尾 薫 (昭53政) 高森 邦彦 (昭54政) 石川 悦也 (昭52高) 竹田 裕彦 (昭56法)	葛城 茂敬 (昭34化) 柳井 俊二 (昭31高) 脇田 宏 (昭37化) 後藤 昭彦 (昭38政) 渡邊 琢仁 (昭38経) 江川 和子 (昭37短家) 秋山 豪 (昭39経) 児玉 茂幸 (昭39経) 杉山真喜子 (昭39短国) 杉浦 孝子 (昭39短家) 三田 由美 (昭41英) 一條 實昭 (昭39高)	柳原 従光 (昭38経) 山本 靖彦 (昭38経)	<<役員候補者推薦委員長>> 川瀬 量平 (昭34経)	島津 久厚 (昭14日高) 賀陽 治憲 (昭22日高)	佐藤助九郎 (昭31経) 橋爪 康子 (昭31国) 山崎 徹 (昭32政) 梶本 孝雄 (昭32経) 上田 洋子 (昭32短国) 桑原 啓子 (昭33政) 菅 忠義 (昭33物) 三村真喜子 (昭34短家) 高澤 寛 (昭35経) 落合 雅子 (昭35短家) 野田 豊 (昭40経)
	<<監事>> 杉本 惇 (昭32政) 山本 時雄 (昭33経)	川原 敏資 (昭33経) 松本 博子 (昭34短国) 廣幅 忠昌 (昭37経) 北村 紀子 (昭37短家) 上野 照博 (昭38経) 松平 宗紀 (昭38物) 内藤 政忠 (昭41政)	<<名譽会長>> 東園 基文 (昭6日高)	唐澤 博幸 (平3法) 高森 邦彦 (昭54政) 竹田 裕彦 (昭56法)	小笠原長武 (昭27政) 中條 高徳 (昭27政) 吉野 和子 (昭27短英) 明石 元紹 (昭27高) 大木 俊一 (昭28政) 前田 眞也 (昭28政) 松岡 志郎 (昭28化) 高木みどり (昭28短国) 吉村 恂子 (昭28短国) 小菅 孝二 (昭29政) 田中 靖政 (昭29政) 二宮洋太郎 (昭29政)
	<<顧問>> 堀越 善雄 (昭15日高) 黒田 長榮 (昭18日高) 田中 雄平 (昭20日高) 犬養 康彦 (昭27政) 小野田 博 (昭30化) 池田 浩規 (昭33政)	<<参与>> 六所 五郎 (昭12日高)			

※評議員は省略させていただきました。

平成17年度決算書・平成18年度予算書

貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

1. 資産の部

(単位:円)

款	科目	平成18年3月31日現在(A)	平成17年3月31日現在(B)	比較増減(A-B)
運用財産	電話加入権	431,068	431,068	0
	奨学金貸付金	37,168,200	39,983,600	△2,815,400
	未収金	1,302,627	1,408,974	△106,347
	有価証券	1,537,591,076	1,355,675,702	181,915,374
	貯蔵品	488,775	1,092,000	△603,225
	前払費用	337,836	470,982	△133,146
	立替金	0	0	0
	貯金			
	(普通預金)	75,471,191	160,311,339	△84,840,148
	(郵便振替預金)	18,746,025	14,502,135	4,243,890
	預け金	0	0	0
	現金	504,291	633,013	△128,722
	運用財産計	1,672,041,089	1,574,508,813	97,532,276
資産合計	1,672,041,089	1,574,508,813	97,532,276	

2. 負債および正味資産の部

(単位:円)

款	科目	平成18年3月31日現在(A)	平成17年3月31日現在(B)	比較増減(A-B)
負債	前受金	267,340,000	302,107,000	△34,767,000
	未払金	3,400,235	2,783,102	617,133
	引当金	37,168,200	39,983,600	△2,815,400
	仮受金	739,463	536,432	203,031
	預り金	25,291	23,397	1,894
	負債計	308,673,189	345,433,531	△36,760,342
正味資産	積立金			
	基本会費積立金	870,000,000	860,000,000	10,000,000
	施設拡充積立金	110,000,000	100,000,000	10,000,000
	桜友会育英資金積立金	150,000,000	150,000,000	0
	前期繰越金	99,075,282	74,818,316	24,256,966
	当期収入費用差額	134,292,618	44,256,966	90,035,652
	正味資産計	1,363,367,900	1,229,075,282	134,292,618
	負債・正味資産合計	1,672,041,089	1,574,508,813	97,532,276

平成17年度決算総括表

収入の部	248,233,233
費用の部	113,940,615
収入・費用差額	134,292,618

計 報			
富田忠夫	昭3旧中	河合成元	昭35政
鈴木素雄	昭12日高	堀越義規	昭35経
太田資教	昭14日中	三宅俊之	昭36経
黒田義輝	昭14日高	北原建彦	昭40政
鍋島直玄	昭14日高	圓山 靖	昭40政
石川源光	昭16日高	石崎秀弥	昭41経
倉持 修	昭17日高	山倉宏昭	昭41経
浜尾 実	昭19日高	大岩恭子	昭43国
今園園建	昭20日高	尾崎陽子	昭43独
八代健輔	昭23日高	石原光太郎	昭44経
山内長宗	昭23中	内田裕見子	昭47短家
吉村 昭	昭24高	児嶋知子	昭48経
岩城宏之	昭26高	木村ゆきえ	昭48化
小泉芳和	昭27政	安達滝介	昭49物
小坂昇太郎	昭28政	小平久美子	昭50短文
漆間ティ	昭28短英	松井泰江	昭50短文
井上哲男	昭29政	初田千穂子	昭51国
田中靖政	昭29政	飯島 健	昭51化
学習院大学名誉教授・元法学部教授		市村 博	昭56政
		関 秀子	昭56短英
近久芳昭	昭29物	奥野 達	平4経
遅塚昌幸	昭31政	夷子久美子	平7法
吉本淳二	昭31政	荒浪洋子	平8短国
堤 直寛	昭31経		旧教員
山中尚子	昭31短家	彌永昌吉	元理学部
田邊禮一	昭32経		教授
荒川恒行	昭34政		

懐んでおくやみ申し上げます。(各敬称略)

平成17年度収入費用決算書並びに平成18年度収入費用予算書

収入の部

(単位:円)

項目	平成18年度予算	平成17年度決算額
会費収入	83,855,000	85,318,245
寄付金収入	0	0
財産収入	40,000,000	145,028,309
事業収入	12,550,000	13,950,734
その他の収入	500,000	310,545
引当金戻入	0	3,625,400
収入合計	136,905,000	248,233,233

費用の部

(単位:円)

項目	平成18年度予算	平成17年度決算額
人件費	18,050,000	15,140,297
事務費	13,467,000	10,527,672
事業費	87,797,000	81,344,081
予備費	8,000,000	5,754,220
一般経費	120,000	95,995
その他	1,000,000	1,078,350
収支差額	8,471,000	134,292,618
費用合計	136,905,000	113,940,615

剰余金処分

(単位:円)

前年度繰越剰余金	99,075,282
当年度収入超過額	134,292,618
計	233,367,900
これを次の通り処分する。	
基本会費積立金繰入	60,000,000
施設拡充積立金繰入	30,000,000
桜友会基金積立金繰入	63,000,000
資産運用準備金積立金繰入	20,000,000
計	173,000,000
次期繰越剰余金	60,367,900

上記の平成17年度決算書・平成18年度予算書は監事4名により確認されました。

平成18年度委員会組織表

平成18年6月10日現在

部会名	担当副会長	委員会名	委員長(副)	主な業務内容
情報	内藤副会長	情報発信広告委員会	黒川常務理事 吉江常務理事(副)	①桜友会報、短信、HP等の取材編集発行 発信業務 ②協賛広告・受注活動推進
組織	東園副会長	学部学年委員会	三野常務理事 夏日常務理事(副)	①大学各学部会、草上会、中高桜友会及び 学年会(周年行事を含む)の活動支援 ②会員拡大の為の企画運営
		全国支部 輔仁会職域委員会		①全国支部、輔仁会、職域桜友会等の活動 支援・首都圏会員の組織化推進 ②学校法人主催の公開講演への協力
親睦行事	内藤副会長	催事委員会	松尾常務理事	「オール学習院の集い」 「チェリーパーティー」の企画実施
	東園副会長	月例行事委員会	三野常務理事 林常務理事(副)	月例会(首都圏桜友会)、伝統文化見学、 講演会等の企画実施
母校支援	草刈副会長	親睦委員会	金田常務理事 大野常務理事(副)	新年会、ゴルフ会(常陸宮杯、桜友会長杯)、 旅行会の企画実施
		準会員就職支援委員会	竹田常務理事 石川常務理事(副)	準会員に対する就職支援活動
	稲副会長	桜友会講座準備委員会	黒川常務理事	日本及び学習院の伝統と文化を在学生に伝 える為の具体的方法検討
事務局	草刈副会長	助成金支給委員会	奥津常務理事	①院在学生及び部活への助成金の支給 ②院在学生への桜友会奨学金支給及び海外 留学生への支援
		総務委員会	高森事務局長	①桜友会事務局の統括 ②学校法人学習院 との折衝窓口(基本会費徴収・桜友会基金 ・会館建設・桜友会カード等) ③その 他の委員会に属さない事項
	稲副会長	データ管理委員会	大和田常務理事	①会員把握の為のデータ管理 ②名簿メンテナンス
		財務委員会	飯野常務理事	①月次収支、中間、年次決算報告 ②予算 案に基づく編成 ③基本財産の運用管理 ④経理業務

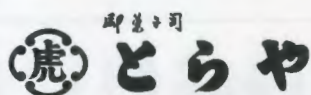
会員情報の更新(会員番号をお知らせ下さい) 会員の現況情報は、原則的にご本人から桜友会事務局へのご連絡によって更新しております。ご逝去の場合はご家族からのご連絡によります。ご家族からのご連絡以外に、知人の方や各組織から新しく提出された名簿の照合によることもあります。確実に会員情報を更新するために会員番号をお知らせいただければ幸いです。会員番号は宛名シールの下部に印刷されている10桁(4桁-3桁-3桁)の数字です。ご協力よろしくお願いいたします。

和菓子は 日本の感性と文化がつくりました。

感性に響き、ひとの美意識までも伝える和菓子は「五感の総合芸術」といわれています。美しい姿、菓銘の響き、ほのかな香り、まろやかな美味しさ、そして舌ざわり。五つの繊細な感覚が重なり合って、小さな和菓子に大きな広がりが生まれます。五世紀の永きにわたり営み続ける「とらや」の菓子は歴史と文化の中で磨きあげられた、日本の感性の結晶です。



<http://www.toraya-group.co.jp/>



イトオテルミー療法

医療とは、治し癒す人と病める人が、平等な対話を重ね真実に触れ、病苦への自覚と受容をお互いが認容する方向に進めるものです。



高齢化社会を迎え、
その温熱刺激療法に、
会員10万名

1980年5月21日に落成したテルミーの殿堂「福德会館」は、四季折々の自然に恵まれた清流多摩川の河畔に建ち、訪れる人々に安らぎと希望を与えます。今、会館はテルミー療法の研究の場として休むことなく機能しています。

イトオテルミー療法について、くわしくお知りになりたい方は、下記イトオテルミー親友会へお問い合わせください。なお、聖イトオテルミー学院では講習生を募集しています。入学ご希望の方は、本科コース、専科コースがありますので、(044-811-8415)へお問い合わせください。卒業後、指導資格者としての道がひらけます。

イトオテルミー親友会

〒213-0032 神奈川県川崎市高津区久地2-6-28
TEL 044-811-8415(代表) FAX 044-811-8409
<http://www.ito-thermie.or.jp/>

(有)東京理医学研究所

〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-18-12
TEL 03-3425-2131

日本初 生きた 乳酸菌*入り 歯みがき



*清浄剤(歯垢除去成分)として配合している乳酸菌はラクトミンです。

乳酸菌*が エナメル質を傷めず 歯垢を落とす

薬用歯みがき「アバンビーズ」

日本で初めて、乳酸菌を生きたまま、清浄剤として配合。それがアバンビーズです。歯周病原菌やむし歯原因菌の巣となる歯垢を落とし、付着させないための新発想。ご家族の歯と歯グキ、お口の健康を守ります。

4つの薬用成分
が効果を発揮

- 歯石沈着を防ぐ
セオライト
- 歯質を強化
むし歯を予防する
フッ化ナトリウム
- 着色汚れを防ぐ
ポリエチレン
グリコール600
- 歯ぐきの炎症・腫れを抑える
カンダチルレチン酸

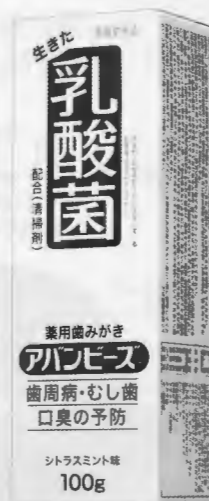
生きた乳酸菌
を配合

- 歯垢(病原菌の巣)を除去する

[主な効能・効果]

- 歯周炎(歯槽膿漏)の予防 ●歯肉炎の予防
- むし歯の発生及び進行の予防 ●口臭の防止
- 歯を白くする ●歯石の沈着を防ぐ
- 口中を浄化する ●口中を爽快にする

*歯周病は、歯周炎(歯槽膿漏)・歯肉炎の総称です。



お客様相談室 03-3279-1221 (直通) 受付時間:月~金 9:00~17:30 (祝日を除く)
www.wakamoto-pharm.co.jp

YOKU MOKU

ヨックモックの商品は、全国の有名百貨店で お買い求めいただけます。



安心して贈れるおいしいものを、大切な方々へ。
ヨックモックのクッキー

株式会社 ヨックモック

〒107-0062 東京都港区南青山5-3-3

☎0120-033-340 <http://www.yokumoku.co.jp>



まっすぐ。



正確な大工仕事を行うための
基本となる墨出し作業。

私たちのころには、今もこの作業の
大切さが染みこんでいます。

お客様のニーズや期待に対して
墨壺の糸がびんと直線を描くように、
寸分の誤差なくまっすぐに応えること。

その地道で着実な作業の積み重ねで、
さらにご満足いただける
「良い仕事」へとつなげてゆく。

これからも変ることがない
シミズの基本姿勢です。

*「墨壺」とは大工道具のひとつで、
壺の部分に墨汁を含んだ綿を入れ
糸を引き出してピンとはじくことで、
まっすぐの墨の線を描きます。
写真は江戸期と推定される
当社所蔵のものです。

人がつくる、人の場所。

SHIMIZU CORPORATION 
清水建設

<http://www.shimz.co.jp/>

「月例会」で会いましょう!

平成19年は百周年記念会館で開催

12・1月と8月を除く毎月第2木曜日の18時より開催されている桜友会「月例会」。

軽い食事と飲みもの付きで、毎回各界で活躍中の学習院卒業生を講師に招く。

桜友会員ならだれでも参加できるサロンのような存在。はじめての方の参加ももちろん大歓迎。

平成18年の「月例会」

1・8・12月は恒例により休会

- 第159回 2月9日
久邇邦昭氏(昭27政) 神社本庁統理
「世界の宗教・文化—日本文化の独自性を考える」
- 第160回 3月9日
三土裕久氏(昭36経) 東洋学園大学教授
「私の歩んで来た日米関係」
- 第161回 4月13日
諸橋 泰氏(昭36高) ANAホテルマネジメント代表取締役会長
「ホテルビジネスの現状と展望」
- 第162回 5月11日
佐藤 潔氏(昭31高) 順天堂東京高齢者医療センター院長
「医療費抑制政策と日本の医療」
- 第163回 6月8日
山野正義氏(昭30高) 学校法人山野学苑理事長
「美容、健康、介護と私の人生」
- 第164回 7月13日
檜原茂子氏(昭44国) 松涛幼稚園副園長
「源氏物語の骨格—あの長い話を本当に面白いと納得する為に」
- 第165回 9月2日
阿比留久美氏(平9女高) 早稲田大学大学院生
「若者の居場所」
- 第167回 11月9日
喜多村一幸氏(昭41高) 医療法人医幸会理事長
「頭痛は怖い」

平成19年 講師予定 (6月まで)

会場は目白・学習院創立百周年記念会館

- 第168回 3月8日
山崎泰子氏(昭28短家) 元駐英大使夫人、更紗蒐集家
- 第169回 4月12日
北白川道久氏(昭35経) 伊勢神宮大宮司
- 第170回 5月10日
小早川隆治氏(昭38物) 元マツダ、ロータリーエンジン開発
- 第171回 6月14日
呉 文彦氏(昭55高) 日本テレビ放送網元ワシントン支局長

「日本の伝統文化に触れる会」

毎回、日本の伝統文化をテーマに、体験型のイベントを開催。平成18年11月22日には、「古都鎌倉を訪ねて」と題したバスツアーを企画。目白の学習院大学正門前で、東慶寺、円覚寺、長谷観音などを訪ね歩いた。こちらへのご参加もお待ちしています。

平成18年10月12日 霞会館にて
桜友会創立85周年記念 第166回「月例会」

河野博文氏 (昭39高)

JFEスチール専務執行役員
元資源エネルギー庁長官



「エネルギーと環境」

温室効果ガスの排出量削減に関する数値目標が設定された京都議定書。日本はどのような方法でその目標を達成しようとしているのか。日本のエネルギー政策に深く関わった経験にもとづき分かりやすくお話しいただいた。

<講師略歴>

昭和21年1月1日生まれ。昭和39年学習院高等科卒業。昭和44年東京大学経済学部経営学科卒業後、通商産業省入省。平成6年12月大臣官房審議官(産業政策局担当)、同7年6月資源エネルギー庁石油部長、同8年8月機械情報産業局次長、同10年6月基礎産業局長、同11年9月資源エネルギー庁長官、同14年7月退官。平成16年8月JFEスチール株式会社専務執行役員に就任。



だれかを誘って
ぜひ一度ご来場を

「月例会」は年末年始と夏休みの月を除く毎月第2木曜日に定期的に催されている。長年にわたって霞会館を会場にしていたが、平成19年は、同会館が改装工事のため、目白の百周年記念会館に会場を移しての開催となる。

講演会といっても、軽食と飲みものがサービスされるので、ちょっとしたパーティの雰囲気も。

会費は男性4000円、女性3500円。18〜20時。参加希望者は桜友会事務局へ連絡(名札を用意)。当日参加も可。

「国際社会の中の女性の生き方」

中山恭子 内閣総理大臣補佐官 (拉致問題担当)



私が日本人拉致事件で経験したこと——

第1

1回草上セミナーでお話させていただきます。ただけです。大変光栄に存じます。私自身の経験をお話して、少しでも参考にしてもらえたらと思います。

2002年の秋、北朝鮮による日本人拉致問題に関わることになりました。中央アジアから帰国後間もなく、当時の福田康夫官房長官からお声がかかりました。まず、拉致された被害者のご家族にお会いしました時、非常に印象深かったことは、ご家族の方々が、娘や息子がいなくなつて長い間大変つらい思いをしているのに、周りの人のことを思いやり、お互いに慰めあい、助け合う、そういう日本的なものをしっかりと持っているということでした。

日本人拉致には、いくつか理由がありますが、そのひとつに北朝鮮工作員を日本人のように仕立て上げるため日本人化教育を施すことが必要となり、日本人を拉致したということがあります。そのため、典型的な日本の家庭でしっかりと日本のなまを学んだ人々が拉致されました。また、若者が姿を消したケースが全国にたくさんありましたが、それはそのまま若い日本人を工作員に仕立て上げようとしたのだろうと考えられています。拉致された若者たちは責任感が強く、その地域でリーダーとして慕われていた人たちです。したがって残された家族も典型的な日本の家庭の方々だということをご家族とお会いして感じ取ることができました。

2002年10月15日、被害者5人が平壤から一時帰国しましたとき、日本政府は、この5人を、5人が日本にとどまりたいからではなく、5人の意思に関わらず、日本に滞在させるとの日本政府方針を10月24日決定しました。この方針が拉致問題についての日本の対応のひとつのターニングポイントだったと思っております。政府の中で日本として拉致問題はどう考えるのかということが非常に激しく議論されました。国民の生命・安全・財産を守ることは政府の基本的な役割です。北朝鮮に拉致され全ての自由を奪われている日本人の救出は、被害者や家族だけの問題ではなく、日本政府の仕事であるということをしつかり打ち出すことができました。政府は自分の仕事としてこの拉致問題について北朝鮮と交渉していくことがはつきりいたしました。

ジャカルタでの家族再会

北朝鮮が日本とあまりにも違う国だということ、曾我ひとみさん一家がジャカルタで再会して、家族を日本に連れてきた、この時の動きを見ていただくとかかりやすいと思います。

当時、北朝鮮側は曾我さんの夫のジェンキンスさんを日本に渡すつもりはなく、ひとみさんを平壤に連れ戻すという筋書きでした。当初計画されていたとおり、もし北京で再会していたら、この一家は平壤に連れて行かれていたと思えます。日本の担当者は拉致された日本人とその家族はすべて日本に帰国させるとの考えでいましたので、一家を日本に連れ

戻すためには北京で再会させてはならないと考えました。また、ひとみさんも娘2人はなんとしても日本に連れて戻ろうと真剣に考えていました。彼女のそばにいて感じていましたのは、再会して日本に行こうと説得しても説得できずどうにも動きが取れなくなつたら自分の命をかける覚悟をしているということでした。ひとみさんには、自分の家族を平壤には絶対に返さないという非常に強い思いがありました。

ジャカルタで再会することとなりましたが、ジャカルタで再会しても北朝鮮側はこの家族を連れて戻れると考えていたようでした。そういうことがわかっていましたので、チャーター便を使い、ジャカルタではしっかりとホテルを使用しました。全国からずいぶん非難が寄せられました。全国からずいぶん非難が寄せられました。この家族を北朝鮮から切り離すことができなかったということ、ご理解いただきたいと思っております。

平壤では、ジェンキンスさんと二人の娘のほか、一家を監視する北朝鮮の3人の指導員もこのチャーター便に乗り降りました。ジャカルタの空港で、タラップを降りたジェンキンスさんをひとみさんが抱きかかえました。隣にいて驚きましたが、同時にひとみさんは自分でできることは何でもやろうとしている、頑張っているなと思えました。北朝鮮では人前で抱擁する仕草は禁止されているので、「ここは北朝鮮ではないんだよ。あなたは北朝鮮を出たよ」ということを夫に認識させ、

現役の学生も、たくさん参加した講演会



拉致問題から見た異質な世界。 その国際社会での生き方を、 学生たちに語りかけた1時間。

自分たちは絶対に北朝鮮に戻らないという覚悟を示す仕草だろうと、考えました。そのまま日本人だけが乗っているバスに一家を乗せ、ホテルへ向いました。ホテルでは日本政府が借り上げていた14階の奥の一角にこの家族を押し込みました。この時が一家を北朝鮮から物理的に切り離すことのできた瞬間です。

北朝鮮の指導員も同じホテルに泊まり、ジャカルタには北朝鮮関係者がたくさん住んでいましたので、北朝鮮側はいつでもこの家族に接触でき、思い通りに動かせると考えていました。北朝鮮では、拉致被害者など監視下におかれている人々は、指導員から指導されたとおりのことしか話せない状況におかれています。

ジェンキンスさんが英字新聞のインタビューの中で、小泉総理が説得したときどうして一緒に行くと言わなかったのか、という質問に答えています。「小泉総理に会う前に、『日本に行くと言っていないけない、小泉総理があきらめない時には北京まで行くから、ひとみさんも北京まで連れてくるように言いなさい』と指導されていた。自分がもし、日本に行きたいと答えていたら、小泉総理と別れた後、その日のうちに自分の命はなくなっていた」と答えています。ミカさんやプリンダさんも同じように、「日本に行くとお父さんが殺されるから行けないと言いなさい」と指導されていました。ですから二人はそのとおりのことを繰り返していました。それ以外のことは言えませんでした。北朝鮮では監視されている

人の会話はすべて盗聴されているというのが当然のことで、家庭の中での会話も盗聴されています。監視下にある人々はいつも恐怖の中で生活しているということがわかります。自分の命に関わると考えていますので、本当のことは決して言えません。

ジャカルタのホテルでは14階のエレベーターはカードを入れないとドアが開かないようにし、一家の部屋の電話も取り外してしまいました。北朝鮮側は曾我さん一家に接触することはできなくなりました。家族4人で生活し、自由に話してもらおうと思いましたが、医師だけが中に入っていました。数日後、ジェンキンスさんから日本に行きたいと伝えてきました。ジェンキンスさんに確認しましたら、家族揃って日本に行きますとサインをしてくれました。子供たちはまだ北朝鮮に戻る気であるが、ひとみと2人で説得するからということでした。

国際社会で生きるために

ジャカルタでは北朝鮮が汚い言葉で日本を非難しましたが、現場にいた日本側担当者たちは、北朝鮮からついできた指導員やそれを取り囲む人々は、日本を非難しているのではなく、必死で訴えなければ平壤に帰った時、厳しい処罰が待っていて大変なんだろうと心配しながら様子を見ていました。拉致された人々を監視している人々は重い責任を負っていることが分かります。

そして多くの人々の協力と支援があっ

て、この一家を日本に連れてくることができました。

曾我さんをはじめ帰国した被害者5人を見てみると、北朝鮮に残されている人々を、1人も残さずに日本に連れ戻してこなければと思います。自国の国民を守れない国は国際社会でも信頼を得ることはできません。まったく異質の社会の隣の国、その国と、どのように付き合えば、必ず対応できると思っっています。

国際社会は非常に厳しい社会です。自分の意見を、しっかりととした論理のもと、言葉で表現して確実に相手に伝えなければ、理解されないということを知ってほしいと思います。言わなくてもわかってくれるという付き合い方は通用しません。自分の意見をしっかりと伝えられるように、自身を鍛えておいてほしいと思っています。

中山恭子 [内閣総理大臣補佐官 (拉致問題担当)、元内閣官房参与]

昭和15年 (1940)	1月26日生まれ
昭和38年 (1963)	3月東京大学文学部仏文学科卒業
昭和40年 (1965)	9月国家公務員上級 (甲・経済) 試験合格
昭和41年 (1966)	4月大蔵省入省
昭和50年 (1975)	6月国際通貨基金 (ワシントン)
昭和53年 (1978)	7月大臣官房調査企画課
昭和60年 (1985)	6月大臣官房企画官
昭和62年 (1987)	7月東京税関成田税関支署長
平成元年 (1989)	6月理財局国有財産第二課長
平成3年 (1991)	6月四国財務局長
平成5年 (1993)	6月大臣官房審議官
平成5年 (1993)	9月辞職
	国際交流基金常務理事
平成11年 (1999)	7月特命全権大使 ウズベキスタン共和国駐節 兼タジキスタン共和国駐節
平成14年 (2002)	9月内閣官房参与 (～平成16年9月)
平成18年 (2006)	9月内閣総理大臣補佐官 (拉致問題担当)

学習院同窓会桜友会 団体加入 (平成7年3月)

学習院教職員 団体加入 (昭和54年11月)



最期の儀式を故人のお好きだった
「花」と「音楽」で思い出深く
お送りください。

学習院教職員、桜友会の皆様200余名の方々を
会員価格にて丁重にお送り申し上げます。

- 葬祭につきましては、24時間年中無休です。万一の場合は、
ご連絡いただき次第、直ちに病院に寝台車にてお迎えにあがり、
以後一切責任を持って親切丁寧にお世話いたします。



葬祭ひとすじ40年 経済産業大臣許可(互)第3066号

東京都民互助会

〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8

TEL.03-3396-7231 (代)

FAX.03-3395-8874

相談役 千家光雄 (昭和29年政治経済学部卒業)

<http://www.tomin-gojyo.co.jp>

(iモードにも対応しております)

フリーダイヤル **0120-849544**

深夜、日曜日、祭日、いつでもご遠慮なくお電話下さい。

第66回 学習院公開講演

神奈川桜友会の全面協力で787名が来場。

学校法人学習院と学習院大学の主催で年に2回開催されている「学習院公開講演」。本年度は6月17日の盛岡市での第65回につづき、10月28日に横浜市で第66回の公開講演が開催された。いずれも地元桜友会支部が企画から当日の会場整理まで全面協力して実施されたものだ。

「国際人をどう育てるか」 —外交と国際報道の現場から



たかしまはつひさ
高島肇久氏
(昭38政)

学習院大学特別客員教授
昭和38年学習院大学政経学部政治学科卒業後、NHKに入局。同報道局長、同海外企画局長、国際連合広報センター所長、外務省大臣官房外務報道官などを歴任。平成18年4月から学習院大学法学部特別客員教授に就任。

「食育のすすめ」 —大切なものを失った日本人



はつとりゆきお
服部幸應氏
(昭37中)

服部学園理事長・校長
昭和37年学習院中等科卒業。学校法人服部学園・服部栄養専門学校理事長・校長。全国調理師養成施設協会会長。全国栄養士養成施設協会副会長、内閣府「食育推進会議」委員なども務める。医学博士。



特別対談 「安心・安全・健康な食育」



あさのしげたろう
浅野茂太郎氏
(昭41法)

明治乳業代表取締役社長
+
服部幸應氏

昭和41年学習院大学法学部法学科卒業後、明治乳業に入社。加工食品事業部次長兼市販課長、加工食品販売部長、販売企画部長、取締役人事部長、専務取締役、代表取締役副社長を経て、平成15年4月より代表取締役社長。

浅野

**来年6月16日には
長野市で開催予定**

学校法人学習院と学習院大学が、知的資産の社会還元などを目的に開催している「学習院公開講演」。年に2回全国各地で開催されているが、平成18年度は、6月17日に盛岡市の盛岡グランドホテルで、波多野敬雄氏（学習院長）、池坊由紀氏（学習院女子大学客員教授、華道家元池坊次期家元）を講師に第65回が、10月28日には横浜市の新都市ホールで、高島肇久氏（学習院大学特別客員教授）、服部幸應氏（服部学園理事長・校長）、浅野茂太郎氏（明治乳業社長）の3氏を講師に第66回の公開講演が開催された。

横浜市での公開講演では、高島、服部両氏の講演後、服部、浅野両氏による特別対談という新しい試みもあり、787名の来場者を数えた。同じフロアでは「もう少し、知って下さい学習院」と題して、学習院の入試傾向や学園生活などを一般入場者に説明するコーナーも設置され、学校のPRにも努めた。

この公開講演、地元の湘南桜友会、鎌倉桜友会を含む神奈川桜友会のメンバーがサポーター役として多数参加して実施したもので、当日も受付や会場整理などを学校職員と協力して行った。

神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、神奈川新聞社、NHK横浜放送局などの後援もいただいている。

学習院大学・女子短期大学 卒業40周年記念同窓会 今ときめいて 輝いて



東京會館にて、17時より。学習院長、両大学長らが来賓として出席

卒業40周年同窓会

昭和41年大学卒業
平成18年10月14日 東京會館

学習院大学昭和41年、学習院女子短期大学同39年、同41年卒業者による同窓会。発起人代表／内藤政忠氏（昭41政）。まさに熟年を迎えた年代のこれからの人生への決意を込めた言葉「今ときめいて、輝いて」をテーマに開催。現在も各界で大活躍中の4人のスピーカーが近況紹介をするなど、若さをアピールする楽しい演出が見られた。会の最後には平成19年4月15日のオール学習院の集いでこのクラスの部屋を設けることを提案、満場一致で決定された。

発起人代表
内藤政忠氏（昭41政）



同期の杉浦孝子氏（昭39短）が、学習院の内藤政忠事務理事に寄付金を手渡す

「今ときめいて、輝いて」を
テーマに盛大に開催。
次回は目白で4月15日に！



写真部の現役学生2人がボラロイドカメラで会場内を巡回しての撮影サービス。大人気でした（1枚500円なり！）

難波弘之氏のライブ演奏ではじまった会、ラストの学芸部演奏では伴奏を担当！



思い出を作ってくれました。
同期のミュージシャン
難波弘之氏が院歌を伴奏！

発起人代表
松平保久氏（昭51法）

卒業30周年同窓会

昭和51年大学卒業

平成18年10月7日 百周年記念会館小講堂

学習院大学昭和51年、女子短期大学同49年卒業者に、男女高等科同47年、男女中等科同44年、初等科同41年卒業者を加えた合同同窓会。発起人代表／松平保久氏（昭51法）。働き盛りのこの年代はまだまだヤンチャ&オテンバ気分がぬけ切れない。会場入口には学生当時のディスコのマッチなどが飾られて、まだ遊びは現役という雰囲気。その1人、ミュージシャンとして知る人ぞ知る難波弘之氏が最後に学習院歌を伴奏したのは拍手喝采！



百周年記念会館にて、15時より。亀井弘桜友会会長が学習院長、大学長らとともに乾杯



女優の仁科章子氏や衆議院議員の永岡桂子氏、NHK大河ドラマの演出などで知られる黛りんたろう氏も同期（みんなビンゴを楽しんだ！）

平成18年9月2日 平河町・マツヤサロン

中・高等科桜友会 名越茂夫先生の傘寿を祝う会



皇太子殿下も教え子の1人。昭和49年から51年卒業の教え子たちに囲まれて記念写真

7月31日に80歳を迎えた 名越先生を囲む会に 皇太子殿下もご出席。



久しぶりの先生との再会に
会話も弾む



同じ体育を教えていた前中・
高等科長の従野明宏先生も駆けつけた



“ナゴチン”会代表の右川清
夫氏（昭26中）は名越先生の
教え子第1期生



靖国神社宮司の南部利昭氏
（昭26中）の乾杯。南部氏は
病氣平癒のお守りも渡された



広い会場に溢れん
ばかりの教え子た
ちが出席した

俺は車椅子だけど元気。 皆んなに会いたい！

「ナゴチン」の愛称で親しまれた元中等科の体育の先生、名越茂夫先生の傘寿を祝う会が、約200名の教え子や来賓を集めて盛大に開催された。

会場には、闘病中の先生がハリハリで作った刺繍や、沼津での和船を漕ぐ勇ましい姿の写真も展示してあった。

会には皇太子殿下も出席され、先生との思い出を話された。また残念ながら出席できなかったものの、秋篠宮殿下のメッセージも友人から披露された。

会の途中には先生の近況が報告され、お祝いの品として、靖国神社の南部利昭宮司からはお守りが、浅草寺の黒田忠英氏（昭62中）からはお札が、それぞれ病氣平癒を祈念して贈られた。その他にも多くの品が贈られたが、どれも気持ちのこもった、ナゴチン会らしいものばかりだった。

会も終盤になり、名越先生の挨拶になると、ただ一言「ありがとう」と、心からの感謝の言葉を述べられた。

最後に喜多村一幸氏（昭38中）から、先生の奥様に対する愛情の深さを感じるお話があり、学習院歌斉唱でお開きとなった。

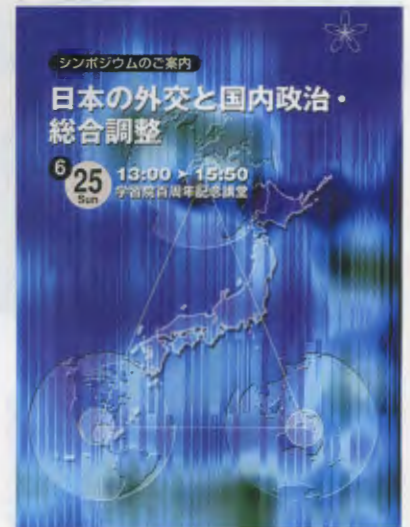
孫がいるような世代から、働き盛りの30代まで世代を超えた楽しい会となり、みんな先生の前ではついつい生徒の気分に戻って、ワンパクな笑顔を見せていた。名越先生、これからはますますお元気で。

学習院大学大学院政治学研究科主催シンポジウム

『日本の外交と国内政治・総合調整』

大学院政治学研究科主催のシンポジウムが、昨年度に引き続き今年も開催された。

第一線で活躍する日本を代表する政治・行政の専門家が21世紀日本の行く末に熱い議論を繰り広げられた。



国内政治と外交・国際関係との接点、絡み合いというテーマで企画された今回のシンポジウム。当日は、第1部外交、第2部国内政治・総合調整の2部構成で、学習院大学政治学科佐々木毅教授の司会で進められた。第1部の外交についての各パネリストの発言は以下。

田中明彦氏／経済が復活し個性の強い小泉首相が5年も政権を担ったことで日本の存在感は確実に上がった。しかし、小泉政権は内政中心の政権であり、外交面では戦略性が希薄だった。外交に関しては、反射神経と戦略の両方が重要だ。また、グローバルライゼーションが進む中でナショナリズムの動きには注意すべきである。

高島肇久氏／外務報道官の3年間で日本外交の姿が最もよく見えたのは国連安全保障理事会の常任理事国入りキャンペーンだ。情勢分析の甘さ、楽観的もこの見方、情報の共有ができて

（パネリスト）佐々木毅（学習院大学法学部政治学科教授、前東京大学総長）、島村宣伸（元農林水産大臣、衆議院議員／昭31政）、高島肇久（学習院大学法学部政治学科特別客員教授／昭38政）、田中明彦（東京大学大学院情報学環教授、同大学前東洋文化研究所教授）、福川伸次（財団法人機械産業記念事業団会長、元通商産業省事務次官）、波多野敬雄（学習院長、国連安全保障理事会・元議長／昭25高）

いないことなどが目についた。今後はパブリックアイプロマシーに対する考え方も確立する必要がある。

波多野敬雄氏／グローバルライゼーションの流れは止まらない。しかし、最も抵抗感をもっているのが日本である。日本の好感度が落ちていくのを危惧する。

島村宣伸氏／外交に対する国民の理解が得にくい。外交の考え方を転換することも大事だ。

福川伸次氏／外交力を評価するには、安全、経済、価値、理解の側面があり、これらを体系的に展開することが必要だ。

以上のような第1部での問題提起を受けて、第2部の国内政治・総合調整の議論に進んだ。第2部はパネリストの方々の実体験を踏まえながら、より具体的な事例による意見交換が行われた。スペースの関係でここでは詳細の紹介ができないが、当日の様子は別途報告書にまとめられる予定。



懇親会での中村清昭氏と永田良昭学習院大学長

平成18年11月15日、18時より百周年記念会館で開催された経済学部同窓会総会は今年で25回目。総会では区切りの年となる本年、同窓会より学校に対して寄付金を贈ることなどが報告された。

議事終了後には、読売新聞グループ・東京オール印刷代表取締役社長の中村清昭氏（昭43法）



総会・講演会開催
中村清昭氏（昭43法）が講演

平成18年11月15日 百周年記念会館にて

総会で本学戸松秀典教授が講演

平成18年11月25日、15時より学習院大学西2号館501教室にて第13回法学部同窓会総会が開催された。総会後の講演会では、学習院大学法科大学院法務研究科長の戸松秀典教授を迎

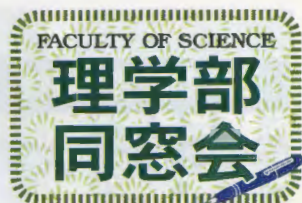
え、新司法試験の結果を踏まえた法科大学院の現状と今後についての話をうかがった。

講演後は輔仁会館さくらラウンジでの懇親会があり、学校関係者との交流を深めた。

を講師に「新聞界の今日、巨人軍の明日」と題した講演会を開催。同氏は学習院大学卒業後読売新聞社に入社。社会部記者として警視庁記者クラブ担当が長く、3回目の配属時にはキャップを勤めている。また、平成8年から2年間は長島ジャイアンツ広報部長の経験も。

講演では、そうしたユニークな経験を踏まえた興味深い話が飛び出した。新聞には庶民の視点が必要。製作面では技術力が求められている。また、今後のプロ野球への提言として「地域」「ファミリー」「フェアプレー」の3つのキーワードが示された。（講演要旨は次号以降の「校友会報」で紹介予定）

講演終了後は小講堂へ場所を移しての懇親会が、学校関係者多数の出席もあり盛会となった。



平成18年度事業計画 同窓会総会で決定

平成18年6月17日 西5号館201教室にて

6月17日(土)

理学部同窓会の平成18年度総会・講演会・懇親会が開催されました。

事業報告、決算報告、監査報告に続き別項の18年度事業計画案が上程され、慎重審議の上これらをいずれも承認いたしました。

引き続き、千葉工業大学総合研究所教授(元学習院大学理学部教授)三浦謙一郎氏に「生命科学の半世紀、そしてこれから」と題し講演いただきました。その後、会場をホテルメッツ目白内のレストランフィオレンティーナに移し、恒例の懇親会を開催いたしました。

講演会、懇親会には、桜友会本部や各学部同窓会、藤原大輔



熱心に審議の行われた総会

技術交流会

第37回講演会(同窓会総会講演会と共催)。平成18年6月17日(土)「生命科学の半世紀、そしてこれから」三浦謙一郎

理学部長、現旧教授の方々など、多くの来賓のご出席と、在学生の参加もあり有意義なひとときを過ごしました。

就職支援活動

旧「就職委員会」を、「母校」支援活動委員会に改組して2年目に入りました。活動にあたり、理学部との連携を一層強化し、各方面での母校支援の充実を努めております。就職ガイダンスは、今年も2回を計画、環境の変化に対応したプログラムを工夫し進めております。

その第1回目を7月8日(土)に実施いたしました。企業歴のある教授、経験豊かな

OB、現職の人事担当よりそれぞれ丁寧な指導講演をいただき、さらに卒業1〜2年のフレッシュマン3名に就職活動の体験談を話してもらいました。今年度は売り手市場との声もありますが、実際にはその質を問われ、かえって厳しい雰囲気であるとの話に、参加者一同真剣に耳を傾けておりました。

第2回は12月9日(土)に開催いたします。少人数による個別ガイダンスを計画しており、卒業生各位の一層のご支援をお願いいたします。

理学部近況

各学科主任として物理学科は川端有郷教授、化学科は村松康行教授、数学科は谷島賢二教授がそれぞれ就任されました。生命科学科の設立構想が進んでいます。2008年度に大学院生命科学専攻、2009年度に生命科学科を設立し、これまでの物理・化学・数学の3つの柱に新たに「生命」を加える計画です。

理学部同窓会ゴルフ会

ゴルフ会も3年目に入り多くの会員の方々に知られてまいりました。今年度は第4回大会を平成18年5月16日(火)に、第5回大会を同10月3日(火)に、いずれも富士平原ゴルフクラブで開催いたしました。各大会で優勝は菊本亮二氏(昭34化)、

理学部同窓会

平成18年度事業計画

基本方針

会員が理学部同窓会の行う各種行事に気軽に参加していただける様、事業の見直しを行い実行する第一年度とする。

1. 会員に対するサービスの充実
 - ・ホームページ
 - ・情報発信(会報)
 - ・親睦
 - ・技術交流会
2. 準会員に対するサービスの充実
 - ・就職支援活動
3. 理学部・桜友会に対する協力
 - ・各種行事への参加
 - ・交流及び提言

同窓会の学年幹事を募集中です

幹事会は理学部同窓会の基本組織であり、各研究室代表幹事と学年選出幹事で構成され、定時総会議案の承認や、常任幹事の選出等を行います。ただ今、各学年各学科から1名以上の学年幹事を募集しております。候補者のお心あたりを、別掲の同窓会連絡窓口までお寄せください。自薦、他薦を問いません。

案内メールを希望される方は左記または別掲の理学部同窓会連絡窓口までご連絡下さい。
ゴルフ会幹事 酒井佐芳(昭34物) sakai@h02.itsom.net

理学部同窓会連絡窓口(事務局)

- 〒161-8691 東京都落合郵便局私書箱第55号 学習院大学理学部同窓会
- E-mail: doso-ri@gakushuin.ac.jp
- E-mail: NAOMITOKYO@aol.com

理学部同窓会ホームページ

http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/gakubukai/rigakubu.htm

フランス文学科 創立55周年パーティー開催

平成18年11月4日
セルリアンタワー東急ホテルにて

第4回卒業生の篠沢秀夫先生（昭32仏）と。今も元気に数々の著作を発表している。卒業生初の本学名誉教授だ



乾杯の発声をする山崎庸一郎先生（昭25高）。昭和31年から専任に
来年からの学科名変更について説明する吉田加南子主任教授（昭46仏）



現役学生もパーティに参加。パリ行航空チケットなど豪華賞品が当たる抽選会の手伝いなどでも大活躍

平成18年11月4日、渋谷のセルリアンタワー東急ホテルにて、フランス文学科創立55周年パーティーが開催された。
フランス文学科は、昭和26年（1951）文政学部文学科の外国文学専攻の一つとして発足したのがはじまり。翌年、文政学部が文学部と政経学部へ改組され、文学部文学科のフランス文学専攻となり、その後昭和32年（1957）に文学科が改組されて、今日にいたる文学部フランス文学科が誕生した。

フランス・ドイツ両文学科が 平成19年度より学科名を一新

平成19年度より文学部のフランス文学科、ドイツ文学科がそれぞれ「フランス語圏文化学科」「ドイツ語圏文化学科」と名称変更する。これにともなってカリキュラムの改革も行われ、学生や研究者の多様な関心に対応できる以下のコースが設置される。

- (1) フランス語圏文化学科の各コースと主な研究領域。
 - ＜I言語・翻訳コース＞
フランス語学、言語学、翻訳の理論と実践など。
 - ＜II舞台・映像コース＞
演劇、映画、身体表象芸術など。
 - ＜III広域文化コース＞
コミック、アニメ、音楽、ファッション、食文化、地域研究

この間、昭和29年（1954）に10名の第1回卒業生を送り出している。
さて、本年で55周年に当たると、平成19年度から学科の名称が「フランス語圏文化学科」に変わるようになった。将来、同じ「仏文出身」でもニュアンスが少し違う同窓生が誕生することになる。そんなこともあり、55周年パーティーは盛大な中にも複雑な思いが含まれた、まさに記念すべき会となった。

- (2) ドイツ語圏文化学科の各コースと主な研究領域。
 - ＜I言語・情報コース＞
言葉の仕組み、ジェンダー、話し言葉、若者言葉、ナチズムの言語操作、慣用語、認知科学、インターネットなど。
 - ＜II文学・文化コース＞
グリム童話、映画、絵画、ドイツ音楽（リート、オペラ）、カフェ、メルヘン、若者文化など。
 - ＜III現代地域情報コース＞
環境問題、EU、サブカルチャー、ポップ、テクノ音楽、歴史意識、シユタイナー教育、都市と建築、スポーツ、アニメなど。

講演会は講師に磯村尚徳氏をお招きし「女性の地位——日本とフランスの今と昔」の演題でお話いただきました。春のバザーでは例年会員の手作り品と寄付品を、秋のバザーでは寄付品と委託品を扱っております。今回の映画鑑賞会では以前に記念会館正堂にて上映されました映画「エイブル」「ホストタウン」に続く3作目「ピリプ」を皆様に鑑賞いただきました。

常磐会だより

常磐会はこの1年に、講演会、バザー（春秋各一回）、ゴルフコンペ、ブリッジの会、映画鑑賞会などのチャリティ 행사를開催いたしました。

各行事へのご参加、ご協力ありがとうございました。これらの行事の収益金は、各社会事業団体に寄付しております。
また、母校の文化祭、「八重桜祭」では、各地でボランティア活動を行い活躍中の先輩方を展示紹介いたしました。

他にスリランカ北部で津波を体験し、それがきっかけで現地の援助活動を始めた方のお話を聞く会なども催しました。

来年度も「オール学習院の集い」への参加をはじめとして種々活動を行って参ります。ご参加をお待ちいたしております。
常磐会行事についての問合せ先
常磐会事務局

TEL 03・3982・1687



学習院女子大学、新学長に 名誉教授の永井和子氏が就任



永井和子新学長

波多野敬雄前学長が、6月1日学習院長に就任され、それに伴い、永井和子先生が7月18日学習院女子大学長に就任されました。

永井先生は、学習院大学助手、学習院大学・女子短期大学非常勤講師を務められ、昭和54年に女子短期大学助教授、55年に教授に就任されました。女子大学開学の準備にもお力を尽くされ、女子大学への改組変換に伴い、平成10年4月同大教授、17年3月に停年退職、名誉教授とされました。短大から女子大への大きな変化の時を支えてこられた永井先生が学長として再び戻られたことは、現役学生にはもちろんのこと、短期大学時代からの多くの卒業生にとりまして、とてもうれしい出来事で、これからの活躍と女子大学の益々の発展に大きな期待を寄せております。

永井先生のご専門は日本文学（平安時代の文学）で、著書に

永井和子学長プロフィール

昭和9年生まれ。初等科、女子中等科を経て、昭和28年3月学習院女子高等科卒業。昭和32年3月お茶の水女子大学文教育学部文学科国文学専攻卒業、同33年3月同大学文教育学部専攻科文学第一専攻（国文学）修了、同35年3月学習院大学大学院人文科学研究科（国文学）修士課程修了。昭和55年4月学習院女子短期大学教授に就任。昭和57年10月人文文学科主任（昭和63年3月まで）、同63年4月学生部長（平成3年3月まで）。平成10年学習院女子大学教授に就任、平成17年3月同大学停年退職、安倍賞（学術賞）受賞、同年4月学習院女子大学名誉教授、同年10月学習院功労章授章。

平成18年度 総会・懇親会報告

『寝覚物語の研究』（笠間書院、昭和43年）、『続寝覚物語の研究』（同、平成2年）、『源氏物語と老い』（同、平成7年）などがあり、松尾聡学習院大学名誉教授との共著としては『日本古典文学全集枕草子』（小学館、昭和49年）、『新編日本古典文学全集枕草子』（同、平成9年）など数多くの著書があります。

第48回草上会総会・懇親会が、平成18年6月24日、赤坂プリンスホテルにおいて、常陸宮妃華子殿下をお迎えし、192名の会員参集のもと盛大に行われました。

- 一、平成17年度活動報告
- 一、平成18年度活動予定（案）
- 一、平成17年度決算報告
- 一、平成18年度予算（案）
- 一、維持運営費の件
- 一、草上会会則の件

以上が総会の議題でした。

活発な質疑応答で、時間が不足となり、懇親会後の午後4時より継続総会へと移り、7時過ぎまで議題を検討いたしました。

審議の結果、維持運営費の徴収に伴う会則の改正は、臨時総会でを行うことになりましたが、他の全議題が承認されました。

総会に続く懇親会では、学習院女子大学特別専任教授の平野次郎氏による「ジャーナリズムとアカデミズム」と題したご講演をいただき、有意義な時間を過ごすことができました。

また、昨年ご好評いただきましたミニバザーも会場内で開かれ、今回も皆様に、楽しんでいただくことができました。

平成19年度の総会・懇親会は、センチュリーハイアットホテルにて、6月1日（金）開催予定です。詳しくは、次号桜友会報でご案内します。

なお、臨時総会を1月20日（土）女子大学2号館201号室にて、午後1時より開催いたします。同封の「臨時総会のお知らせ」をご覧ください。皆様、ぜひご出席ください。ようお願ひ申し上げます。

第1回草上セミナー

7月12日、草上会主催の第1回草上セミナー「中山恭子氏の講演会」が、開催されました。

講演者は、学生の希望から決定され、会員はもとより女子大学教職員はじめ、学生、校友会など、多くの方々のご支援と協力により、400名近くの方にご参加いただき、好評に終わりました。

第3回パソコン教室

毎回ご好評をいただいておりますパソコン教室の3回目（9月5・6日（初級）、12・13日（中級））が行われました。昼食を挟んでの2日間の講習に、延べ53名の参加があり、さらなる進歩を目指す方、また新たに始めたい方のために、4回目の開催も予定しています。

第1回日帰りバス旅行

学生や留学生も参加できる企画として、今回は特に日本の伝統の物作りの一つ、醤油工場を紹介しました。

女子大生5名を含む33名の



平野次郎氏を迎えての総会後の講演会

Hearty Dayが 始まりました。

新企画



今年5月から互敬会館内草上会で、原則として毎月第2月曜日(午後1時～4時)にHearty Dayが開かれています。

「広尾の慶福乳児園のボランティアになかなか参加できない……」「卒業以来、学校へ行く機会がない……」「気軽集まるチャンスがあれば良いのに……」などの会員の声に応じて始まりました。

Hearty Dayには、大先輩に加え、女子大生も気軽に立ち寄ります。ボランティアやバザーのための手作品を作りながら、企画の実現のための工夫や各年代の会員の希望などのお話はずみ、新しいアイデアも生まれています。例えば「世界で活躍する女性のお話が聞いてみたい」という学生の意見から草上セミナーの講師が決まったり、「日頃、一生懸命取り組んでいる趣味の成果を発表してみたいけれど、個展をするほどは……」という話題から、和祭の会員の作品展を初めて開催しました。

まだまだ何が生まれるか?のHearty Day

- 仲の良いクラスメートが集まる場として……
- 草上会員と在校生との交流の機会として……
- ご自分のアイデアを草上会で生かすために……
気軽に利用してください。

学校で、お会いしましょう

また、Hearty Dayにご自分の特技の1日講座、手芸の講習などをしてみたいという希望がありましたら、ご相談ください。多くの会員に利用していただき、大きな交流の輪を作っていきたいと考えています。お問い合わせは、草上会事務局まで。

10月21・22日女子大学の和祭に、草上会恒例のバザーと会員

和祭バザー・作品展

参加で、9月28日(木)千葉県野田市のキックコーマン工場見学、清水公園、上花輪歴史館、梨もぎを楽しみました。
好天にも恵まれ、野田在住の3回生中野美沙子さんのご協力で、一般のバス旅行にはない手作りの日帰り旅行の1日となりました。



現役学生も参加し、楽しい1日となった

作品展を開催いたしました。

1日目のバザーでは、68名の会員からお寄せいただいた和洋菓子、醤油などの食料品、衣類、毛皮マフラー、バッグなどの小物、雑貨、食器など日用品、手作りコーナーでは、布製チュールリップ、マフラー、桜の焼印入りマドレーヌ、パンなど、種々の品が揃い、ドリンクコーナー、カチューシャ作り無料講習も開かれました。

穏やかな秋空のもと、中庭テントでも販売、そして午後には、中庭ステージでボランティア団体を呼びびして手話ダンスも披露され、見物の方々も一緒に手を動かして楽しんでくださいました。

2日目は、教養講座の講師による講座ごとのパネル展示、生け花の発表、ロビーでは、テ

会員の作品も多数出展された今年も賑わいを見せた和祭



ブル茶のお席も設けられ、ゆったりとした空間が生まれました。ご来場のお客様から「ほっとする学習院らしさを感じます」というお声も聞かれました。また初めての試みとして、一般の草上会員の作品展が開かれ、油絵、紅型、ステンシル、鎌倉彫り、七宝、つるし雛、ポタニカルアート、ちりめん細工など24名の出展があり、皆様の隠れた才能に触れることができ

ました。

和室では、岡山在住の会員によるお煎茶のデモンストラーションがあり、静かな中にも、お客様が絶えることなく訪れてくださいました。

両日とも多くのお客様がご来場くださり、盛況のうちに終えることができました。これも会員の皆様のご協力の賜物と感謝しております。

来年も、皆様に様々な形でご参加いただけるよう考えてまいります。さらに多くの会員の参加をお待ちしております。

草上会幹事会開催

平成18年度第2回幹事会が、10月28日(土)互敬会館において幹事40名、運営委員16名が出席して開催されました。

- 一、平成18年度活動報告及予定
- 一、運営委員選挙管理委員選出
- 一、維持運営費徴収に伴う会則の改正について
- 一、幹事任務、任期について
- 一、その他

会則改正の議題は、賛成多数で承認されました。

幹事会のあとは軽食タイムとし、歓談の時間となりました。

お便りコーナー

今回は、草上セミナーの1トの中から会員、在校生、他のご来場者のご意見をいたします。

・メディアだけでは、

のできない実際のお話を聞くことができ貴重でした。

・働く女性についてのお話をもっと伺いたかった。

・日本で生活していることが、どれだけ幸せなことなのか改めて実感しました。

・大変興味深いお話が、たくさん聞けて、自分の将来について大変参考になりました。

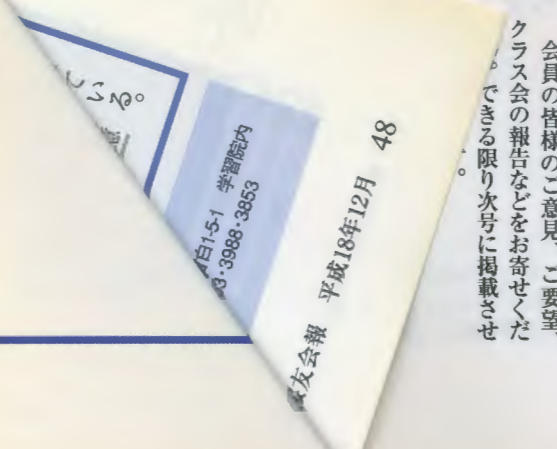
・生の声を聴講できるチャンスをいただき感謝します。

・国際社会では、自分の意志をしっかり持つことが重要であることが、わかりました。

・国際社会で活躍の方のお話、興味深く有意義に拝聴しました。日本に誇りを持って生きていきたいと思えます。もっと長く伺いたかったです。いいお話でした。

アンケートでは、お聞きになりたい講演者、内容についても具体的なご意見が多数寄せられ、今後のセミナーのための参考とさせていただきます。

会員の皆様のご意見、ご要望、クラス会の報告などを寄せてくださる限り次号に掲載させていただきます。



〒100-8301 東京都千代田区白1-5-1 学習院内
TEL 03-3988-3853

平成18年12月 48
女子大学報

Hearty Dayが 始まりました。

新企画



今年5月から互敬会館内草上会で、原則として毎月第2月曜日(午後1時~4時)にHearty Dayが開かれています。

「広尾の慶福乳児園のボランティアになかなか参加できない……」「卒業以来、学校へ行く機会がない……」「気軽に集まるチャンスがあれば良いのに……」などの会員の声に応じて始まりました。

Hearty Dayには、大先輩に加え、女子大生も気軽に立ち寄ります。ボランティアやバザーのための手作品を作りながら、企画の実現のための工夫や各年代の会員の希望などのお話はずみ、新しいアイデアも生まれています。例えば「世界で活躍する女性のお話が聞いてみたい」という学生の意見から草上セミナーの講師が決まったり、「日頃、一生懸命取り組んでいる趣味の成果を発表してみたいけれど、個展をするほどは……」という話題から、和祭での会員の作品展を初めて開催しました。

まだまだ何が生まれるか?のHearty Day

- 仲の良いクラスメートが集まる場として……
- 草上会員と在校生との交流の機会として……
- ご自分のアイデアを草上会で生かすために……気軽に利用してください。

学校で、お会いしましょう

また、Hearty Dayにご自分の特技の1日講座、手芸の講習などをしてみたいという希望がありましたら、ご相談ください。多くの会員に利用していただき、大きな交流の輪を作っていきたいと考えています。お問い合わせは、草上会事務局まで。

10月21・22日女子大学の和祭に、草上会恒例のバザーと会員

和祭バザー・作品展

梨もぎを楽しみました。好天にも恵まれ、野田在住の3回生中野美沙子さんのご協力で、一般のバス旅行にはない手作りの日帰り旅行の1日となりました。

参加で、9月28日(木)千葉県野田市のキックマン工場見学、清水公園、上花輪歴史館、



現役学生も参加し、楽しい1日となった

作品展を開催いたしました。

1日目のバザーでは、68名の会員からお寄せいただいた和洋菓子、醤油などの食料品、衣類、毛皮マフラー、バッグなどの小物、雑貨、食器など日用品、手作りコーナーでは、布製チュールリップ、マフラー、桜の焼印入りマドレーヌ、パンなど、種々の品が揃い、ドリンクコーナー、カチューシャ作り無料講習も開かれました。

穏やかな秋空のもと、中庭テントでも販売、そして午後には、中庭ステージでボランティア団体をお呼びして手話ダンスも披露され、見物の方々も一緒に手を動かして楽しんでくださいました。

2日目は、教養講座の講師による講座ごとのパネル展示、生け花の発表、ロビーでは、テ

ブル茶のお席も設けられ、ゆったりとした空間が生まれました。ご来場のお客様から「ほっとする学習院らしさを感じます」というお声も聞かれました。また初めての試みとして、一般の草上会員の作品展が開かれ、油絵、紅型、ステンシル、鎌倉彫り、七宝、つるし雛、ポタニカルアート、ちりめん細工など24名の出展があり、皆様の隠れた才能に触れることができました。

会員の作品も多数出展された今年も賑わいを見せた和祭



ました。

和室では、岡山在住の会員によるお煎茶のデモンストラーションがあり、静かな中にも、お客様が絶えることなく訪れてくださいました。

両日とも多くのお客様がご来場くださり、盛況のうちに終えることができました。これも会員の皆様のご協力の賜物と感謝しております。

来年も、皆様に様々な形でご参加いただけるよう考えてまいります。さらに多くの会員の参加をお待ちしております。

草上会幹事会開催

平成18年度第2回幹事会が、10月28日(土)互敬会館において幹事40名、運営委員16名が出席して開催されました。

- 一、平成18年度活動報告及予定
- 一、運営委員選挙管理委員選出
- 一、維持運営費徴収に伴う会則の改正について
- 一、幹事任務、任期について
- 一、その他

会則改正の議題は、賛成多数で承認されました。

幹事会のあとは軽食タイムとし、歓談の時間となりました。

お便りコーナー

今回は、草上セミナーのアンケートの中から会員、在校生、その他のご来場者のご意見をご紹介します。

・メディアだけでは、知ること

のできない実際のお話を聞くことができ貴重でした。
・働く女性についてのお話をもっと伺いたかった。
・日本で生活していることが、どれだけ幸せなことなのか改めて実感しました。

・大変興味深いお話が、たくさん聞けて、自分の将来について大変参考になりました。

・生の声を聴講できるチャンスをいただき感謝します。

・国際社会では、自分の意志をしっかり持つことが重要であることが、わかりました。

・国際社会でご活躍の方のお話、興味深く有意義に拝聴しました。日本に誇りを持って生きていきたいと思えます。もっと長く伺いたかったです。いいお話でした。

アンケートでは、お聞きになりたい講演者、内容についても具体的なご意見が多数寄せられ、今後のセミナーのための参考とさせていただきます。

会員の皆様のご意見、ご要望、クラス会の報告などを寄せてください。できる限り次号に掲載させていただきます。

連絡・問合せ

〒162-8650 新宿区戸山3-20-1
学習院女子大学・草上会事務局
TEL03-3203-6476 FAX03-3203-0076
取扱い時間
火~金曜 12~17時 第1土曜 10~13時30分
ホームページ
草上会では催事、企画などの最新情報をホームページに掲載しております。楽しく見ていただけるよう工夫しています。ぜひ一度開いてみてください!
<http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/gakubukai/sojokai.htm>

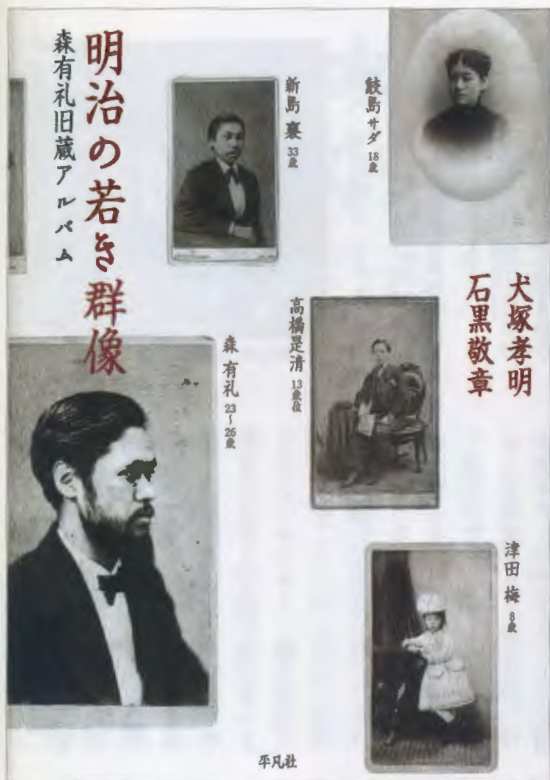
BOOK GUIDE

新刊紹介

学習院卒業生の最新著作を紹介!

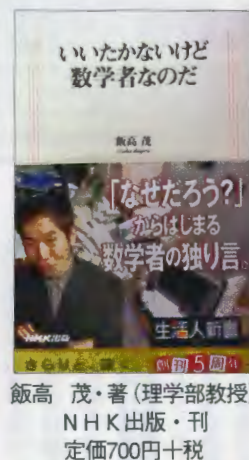
明治初期の日本人の顔が、 ぎっしり詰まったアルバム

本書は薩摩藩士であり、第1次伊藤博文内閣の初代文部大臣を務めた森有礼が収集したカルト・ド・ヴィジットと呼ばれる名刺判写真を中心に編集されている。掲載されている300余枚の写真の多くは、明治の立役者となった人物の若き日のポートレートで、明治初期の日本人の生き生きとした顔つきが、時代を超えた臨場感を伴って迫ってくる。登場する著名人物も、収集者である森有礼のほかに、伊藤博文、井上勝、岩倉具視、榎本武揚、大久保利通、大山巖、勝海舟、木戸孝允、黒田清隆、福沢諭吉、渋沢栄一と挙げればきりがないほどで、明治という時代の息吹きを想像するためのビックリ箱のような一冊である。森有礼は弘化4年(1847)生まれ、明治22年(1889)没。著者・犬塚孝明氏は鹿児島純心女子大学教授。



『明治の若き群像 森有礼旧蔵アルバム』
犬塚孝明(昭43経)・石黒敬章・著
平凡社・刊 定価3400円+税

『いたかないけど数学者なのだ』



飯高 茂・著(理学部教授)
NHK出版・刊
定価700円+税

『すがり 漆と香の道具』



荒川浩和・著(昭31哲修)
淡交社・刊
定価2500円+税

『東北の争乱と奥州合戦』



関 幸彦・著(昭50史)
吉川弘文館・刊
定価2500円+税

『水子(中絶)をめぐる日本文化の底流』



森下直貴・遠藤幸英・清水邦彦(平1哲)・塚原久美・訳
青木書店・刊
定価3800円+税

『アジア主義を問いなおす』



井上寿一・著(法学部教授)
ちくま新書・刊
定価740円+税

『カープとともに真っ赤に燃えたマイク人生』



鈴木信宏・著(昭45政)
文芸社・刊
定価1400円+税

『心謝』



波多野里望・著(大学名誉教授)
小学館スクウェア・刊
定価1143円+税

『雲を掴んで空を飛んだ』



高田久子・著(昭41英)
新生出版・刊
定価1000円+税

『山のエッセイ』
日本百名山と海外トレッキング日記



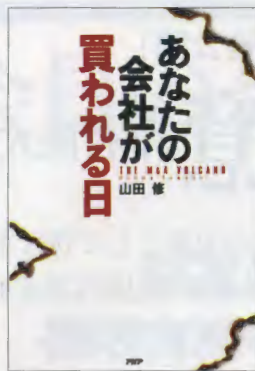
中西 幸・著 (昭47独)
日本文学館・刊
定価1500円＋税

『不良債権の回収・解決事例』
JA後職員のために



永嶋 治・著 (昭55営)
経済法令研究会・刊
定価1400円＋税

『あなたの会社が買われる日』



山田 修・著 (昭50国修)
PHP 研究所・刊
定価1200円＋税

『企業買収』のカラクリ
ニュースの真相が見えてくる



川上清市・著 (昭52政)
青春出版社・刊
定価700円＋税

『混合診療を解禁せよ』
違憲の医療制度



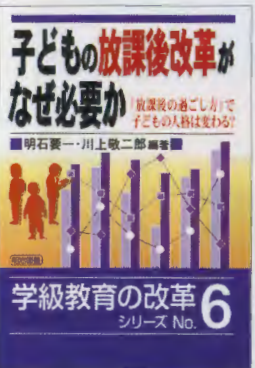
清郷伸人・著 (昭48哲)
ごま書房・刊
定価1200円＋税

『女性の仕事環境とキャリア形成』



櫻木見裕・監修 (昭60政)
浜松学院大学「女性の仕事とキャリア研究グループ」・著
税務経理協会・刊
定価2800円＋税

『子どもの放課後改革がなぜ必要か』
「放課後の過ごし方」で子どもの人格は変わる?



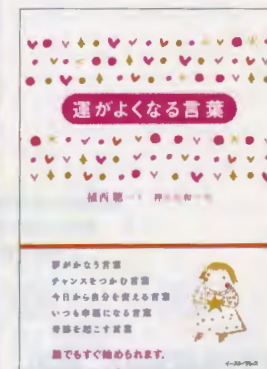
明石要一・川上敬二郎 (平1中)・編著
明治図書・刊
定価2060円＋税

『慈庵句集』



谷 雅子・著 (昭45国)
邑書林・刊
定価2000円＋税

『運がよくなる言葉』



植西聰 (昭44経)・文 押金美和・絵
一スト・プレス・刊
定価1000円＋税

『サロン繁栄の接客術』
「お客さまに愛される接し方・話し方」



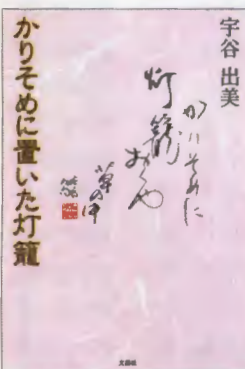
大平雅美・著 (平17女子大)
BABジャパン出版局・刊
定価1400円＋税

『俳句の時空 小澤克己21世紀俳談』



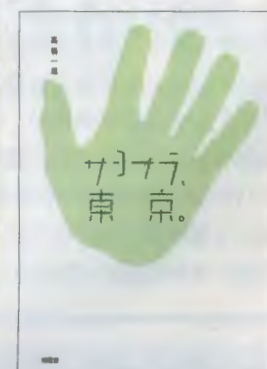
小澤克己・著 (昭48経)
東京四季出版・刊
定価2500円税込

『かりそめに置いた灯籠』



宇谷出美・著 (昭47政)
文芸社・刊
定価1300円＋税

『サヨナラ東京』



高橋一起・著 (昭41哲)
新風舎・刊
定価1600円＋税

『われらが時代のビッグ・アーティスト』



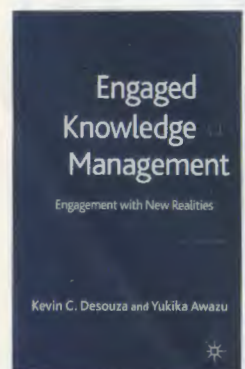
辻川一徳・著 (昭30高)
フィルムアート社・刊
定価3000円＋税

『英国伝統のホームメイドお菓子』



徳野千鶴子・田川由紀子 (昭50英)・訳
河出書房新社・刊
定価1400円＋税

『Engaged Knowledge Management』
Engagement with New Realities



Kevin C. Desouza・粟津夕折花 (平5政)
Palgrave Macmillan・刊
定価1万1720円 (税込)

本欄でご紹介した著作は、桜友会事務局にお送りいただいたものです。ありがとうございました。なお、スペース等の関係で掲載できなかったものもあります。

学習院のお宝を一般公開!

『写真集 明治の記憶』 学習院大学所蔵写真

学習院のお宝の一部が、このたび一冊の写真集として刊行された。
大学史料館と大学図書館に眠る明治期の貴重な記録写真が437点、
学習院の底力が感じられる母校の歴史的資産だ。

写真集 明治の記憶

● 学習院大学所蔵写真 ●



学習院大学史料館 編

学習院大学史料館編
定価9000円+税
吉川弘文館・刊

吉川弘文館

史料館講座のご案内

史料館では年3回、学生・教職員・一般の方を対象に、歴史学・史料学・美術史などの第一線で活躍する研究者を招き、最新の学術成果などをわかりやすく解説する講座を開いている。参加費は無料で、平日の18時30分から20時までの1時間半。10月11日には写真集の刊行を記念して、宮内庁書陵部の岩壁義光氏を招き第50回の史料館講座が開催された。

学習院には多くのお宝が眠っている。ここで紹介する『写真集 明治の記憶』もその一部。学習院にはその成立の性格上、様々な経緯で数多くの資・史料が集まってきた。掲載されている写真史料には、明治天皇が行幸した際の写真や、八甲田山死の行軍で有名な弘前の第31連隊の写真も入っている。幸いにも、この写真の連隊は無事生還できたが、同時に行軍を始めた青森歩兵第5連隊は死者199名を出している。これらの写真は旧制学習院時代に「地方風景を学生に教授する際の教材」として収集されたもので、その存在自体が「教育史料」として貴重なものとなっている。

この他にも、学習院には学校の歴史史料を保存管理している院史資料室などもあり、戦前戦後の貴重な史料がまだまだ眠っている。

桜友会報 89号
2006.12.1.

編集/桜友会情報発信広告委員会
担当副会長 内藤頼誼 (昭29高)
委員長 黒川光隆 (昭43政)
副委員長 吉江隆信 (昭50仏)

発行人/亀井 泓 発行所/桜友会
〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院内
☎03-3988-3288 FAX03-3988-3853
印刷所/JTB印刷

桜友会員の皆様へお知らせ

桜友会基本会費 徴収方法の変更について

桜友会基本会費（3万5000円、終身会費）の徴収方法が、平成18年度から変更になります。

従来は、中等科・女子中等科入学時に、大学・女子大学入学時に、桜友会から案内し、桜友会事務局に直接納入されておりました。これを、学校法人学習院および学習院大学・女子大学のご協力により、平成18年度大学・女子大学入学者は、入学3年目の平成20年度から、学費とともに一括徴収することになりました。

これに伴い、平成18年度中等科・女子中等科入学者も、

桜友会から直接払込案内をしないで、入学時から6年経過した平成24年度大学・女子大学進学時から3年目に当たる平成26年度に学費とともに一括徴収することになります。

また、平成24年度に中等科・女子中等科、高等科・女子高等科を経て学習院大学・女子大学に進学せず、他大学に進学される方々は、高等科・女子高等科卒業時点で桜友会から直接基本会費請求をさせていただきます。

以上ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。不明の点がありましたら、桜友会事務局にご照会下さい。

基本会費代理徴収 年度表

学年	徴収年度	平成																											
		11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年										
平成14年度 大学・女子大新入生の学年		高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4																					
平成15年度 大学・女子大新入生の学年		中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4																				
平成16年度 大学・女子大新入生の学年		中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4																			
平成17年度 大学・女子大新入生の学年		中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4																		
平成18年度 大学・女子大新入生の学年			中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4																	
平成19年度 大学・女子大新入生の学年				中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4																
平成20年度 大学・女子大新入生の学年					中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4															
平成21年度 大学・女子大新入生の学年						中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4														
平成22年度 大学・女子大新入生の学年							中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4													
平成23年度 大学・女子大新入生の学年								中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4												
平成24年度 大学・女子大新入生の学年									中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4											
平成25年度 大学・女子大新入生の学年										中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4										
平成26年度 大学・女子大新入生の学年											中1	中2	中3	高1	高2	高3	大1	大2	大3	大4									

- 【表記説明】
- 桜友会徴収 各学校新生に会長文・院長文・振込用紙を渡し個別に徴収
 - 桜友会徴収 平成21年3月以降中等科から他学校に進学者は桜友会徴収
 - 桜友会徴収 平成24年3月以降高等科から他学校に進学者は桜友会徴収
 - 大学代理徴収 大学授業料振込用紙に追加記載し一括代理徴収
 - 大学代理徴収 平成24年4月大学新生からは内部進学者を含めて全員代理徴収



作画:平田勇一 (Production I.G., Inc.)

スミヨイ ミライへ。

100年をつくる会社



KAJIMA CORPORATION